

# 令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地公衆便所排水設備等更新工事

## 設計図

工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事				工事年度	令和6年度	
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本地内				公園名称	日光国立公園	
発注機関	関東地方環境事務所						
審査	課長	補佐	専門官	担当者	設計者	名称	株式会社高橋建築設計事務所
						資格者指名	高橋 潤
						登録番号	一級建築士第275483号
						所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6







<p>4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</p>	<p>・ 浮き部改修工事</p> <p>[4.1.4][4.3.11~16]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法 ・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒をネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm程度</p> <p>注入工法用材料 ・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化量 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/7)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/7)</th> <th>吸水性 (72時間) (N/7)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書2-2 コンクリート工事による) ・既調合材料 ( ) 既製目地材 ・使用する (形状・図示による ) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による</p>	工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法 ・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/7)	曲げ性能 (材齢28日) (N/7)	吸水性 (72時間) (N/7)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/7)	3以上	3以下	0.5以上	5以上	15以下	5.0以上	<p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目貫し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目貫し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・ シーリング材の種類 打組目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系</p> <p>・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>[4.1.4][4.4.5、9~15][4.5.9~15]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分張り替え工法 ・タイル張り替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒を全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm程度</p> <p>・ タイル部分張り替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・ タイル張り替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル (・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書4.5.11による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・ 目貫し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・ 目貫し工法 (改修標準仕様書4.4.9(3)による)</p> <p>・ シーリング材の種類 打組目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系</p> <p>・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>[4.1.4][4.4.5、16]</p> <p>・ 目地改修工事</p>	工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分張り替え工法 ・タイル張り替え工法	-	-	-	-	-	<p>4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁</p> <p>・ 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整</p> <p>[4.5.4]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による</td> <td rowspan="2">・ ひび割れ部改修工法 ・ 浮き部改修工法 ・ 欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離削工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離削工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下地調整塗材 [4.5.2] ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>新規仕上塗材の種類 [4.1.5][4.5.2][表4.5.1] ・ 薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 適用する</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 適用する</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 複層仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>樹脂 ※ F7系</td> <td>※ 耐熱性 3種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>外装 ※ つやあり ・ 浮き ・ 浮き</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>溶膜 ※ 水系</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 可とう形改修用仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>樹脂 ・ 耐熱性 1種</td> <td>・ 耐熱性 1種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>外装 ・ 耐熱性 2種</td> <td>・ 耐熱性 2種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>溶膜 ・ 耐熱性 3種</td> <td>・ 耐熱性 3種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ マスチック塗材塗り</p> <p>[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]</p> <p>・ 外装用塗膜防水材塗り</p> <p>[4.1.5][4.7.2.3][表4.7.1]</p> <p>仕上げの形状 工法 仕上塗材の耐候性 下地移動補修材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。</p> <p>収付け工法の仕様材の種類 ・ (・ 所要量 (kg/m<sup>2</sup>)) 外装用仕上塗材の種類 ・ (・ 所要量 (kg/m<sup>2</sup>)) 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗仕上げ外壁等改修) による。</p> <p>[4.1.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かませ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・ 外部 ・ 内部</td> <td>・ 建具表による</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・木製建具</td> <td>-</td> <td>・ 建具表による</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>[4.1.4]</p> <p>・ 防火戸</p> <p>・ 指定する 適用箇所 (・ 建具表による ) ・ 指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・ 連動させる 適用箇所 (・ 建具表による ) ・ 連動させない</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	・ ひび割れ部改修工法 ・ 浮き部改修工法 ・ 欠損部改修工法	・高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	・塗膜はく離削工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による		・水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離削工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示による		種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	-	-	-	-	-	-	-	-	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	-	-	-	・ 適用する	-	-	-	-	・ 適用する	-	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	-	-	-	樹脂 ※ F7系	※ 耐熱性 3種	-	-	-	-	外装 ※ つやあり ・ 浮き ・ 浮き	-	-	-	-	-	溶膜 ※ 水系	-	-	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	-	-	-	樹脂 ・ 耐熱性 1種	・ 耐熱性 1種	-	-	-	-	外装 ・ 耐熱性 2種	・ 耐熱性 2種	-	-	-	-	溶膜 ・ 耐熱性 3種	・ 耐熱性 3種	-	建具の種類	かませ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	-	・ 建具表による	-	・樹脂製建具	-	・ 建具表による	-	・鋼製建具	・ 外部 ・ 内部	・ 建具表による	-	・鋼製軽量建具	-	・ 建具表による	-	・ステンレス製建具	-	・ 建具表による	-	・木製建具	-	・ 建具表による	-	<p>・ 見本の製作等</p> <p>[5.1.5]</p> <p>・ 防犯建物部品</p> <p>[5.1.7]</p> <p>・ アルミニウム製建具</p> <p>[5.2.2~5][表5.2.2]</p> <p>建具見本の製作 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない 建具見本製作の目的等: ( ) 特殊な建具の取組 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない</p> <p>・ 適用する (・ 建具表による ) ・ 適用しない</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による ) 気密性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による ) 水密性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号 ・ 建具表による ) ・ B種 (建具符号 ・ 建具表による ) ・ C種 (建具符号 ・ 建具表による ) 枠の見込み寸法 (・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・ ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・ BB-1 ・ BB-2 (改修標準仕様書5.2.2) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 室内の建具 種別 ・ BC-1 ・ BC-2 (改修標準仕様書5.2.2) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ・ 水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による</p> <p>[5.2.3、5.3.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 防虫網</td> <td>※ 合成樹脂製 ・ プラスチック入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※ 0.25mm以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) 気密性の等級 ( ) 水密性の等級 ( ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号 ・ 建具表による ) ・ B種 (建具符号 ・ 建具表による ) ・ C種 (建具符号 ・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号 ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8) (建具符号 ・ 建具表による ) 外部に面する建具の日射取得性の等級</p> <p>枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・ 材料 ガラス ※ 複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による</p>	種類	材質	線径	網目	・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ プラスチック入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ	・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
	工法の種類		アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)			注入量 (mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																	
一般部		指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																				
・充填工法 ・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																				
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/7)	曲げ性能 (材齢28日) (N/7)	吸水性 (72時間) (N/7)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/7)																																																																																																																																																																																																																																																				
3以上	3以下	0.5以上	5以上	15以下	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																				
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																				
・エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分張り替え工法 ・タイル張り替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																				
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																																																																																																																																							
・サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	・ ひび割れ部改修工法 ・ 浮き部改修工法 ・ 欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																							
・高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																								
・塗膜はく離削工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																								
・水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離削工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																						
-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																						
-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																						
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																					
-	-	-	・ 適用する	-																																																																																																																																																																																																																																																					
-	-	-	・ 適用する	-																																																																																																																																																																																																																																																					
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																				
-	-	-	樹脂 ※ F7系	※ 耐熱性 3種	-																																																																																																																																																																																																																																																				
-	-	-	外装 ※ つやあり ・ 浮き ・ 浮き	-	-																																																																																																																																																																																																																																																				
-	-	-	溶膜 ※ 水系	-	-																																																																																																																																																																																																																																																				
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																				
-	-	-	樹脂 ・ 耐熱性 1種	・ 耐熱性 1種	-																																																																																																																																																																																																																																																				
-	-	-	外装 ・ 耐熱性 2種	・ 耐熱性 2種	-																																																																																																																																																																																																																																																				
-	-	-	溶膜 ・ 耐熱性 3種	・ 耐熱性 3種	-																																																																																																																																																																																																																																																				
建具の種類	かませ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																						
・アルミニウム製建具	-	・ 建具表による	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・樹脂製建具	-	・ 建具表による	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・鋼製建具	・ 外部 ・ 内部	・ 建具表による	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・鋼製軽量建具	-	・ 建具表による	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・ステンレス製建具	-	・ 建具表による	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・木製建具	-	・ 建具表による	-																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																						
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ プラスチック入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																						
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>4-5 建具改修工事</p> <p>・ 改修工事</p> <p>[4.1.3]</p> <p>・ 目地改修工事</p> <p>[4.1.4][4.4.5、16]</p> <p>・ 目地ひび割れ部改修工事 ・ 伸縮調整目地改修工事 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>	<p>令和5年度(緑線)峰の茶屋登山口園地公衆便所排水設備等更新工事 改修特記仕様書(その3) 令和4年版 22099 A-03 国土交通大臣官房官庁営繕部</p>																																																																																																																																																																																																																																																								

(設計者等表示欄) ※

※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する

<p>・ 鋼製建具</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.4.2-4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号・建具表による)</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表5.4.2による</p> <p>mm 使用箇所 ( )</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法</p> <p>※建具表による</p>	<p>・ 木製建具</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2-4]</p> <p>※A種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放数量等</p> <p>※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 [C]</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 [C]</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 [C]</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF [C]</td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面材の厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表5.7.6による</p> <p>引戸の合合せかまのいんろう付きの適用</p> <p>・適用しない ・適用する</p> <p>・かまち戸</p> <p>かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( )</p> <p>見込み寸法</p> <p>※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま</p> <p>張りの種別 (・I型 ・II型)</p> <p>上張り (押入等の裏側以外)</p> <p>・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>縁仕上げ</p> <p>・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンリキヤード塗装)</p> <p>見込み寸法</p> <p>※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま</p> <p>表面材の仕上げ ・建具表による</p> <p>見込み寸法</p> <p>※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法</p> <p>※30mm ・建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料</p> <p>・建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 [C]	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等)		・天然木化粧合板 [C]	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・特殊加工化粧合板 [C]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板		・MDF [C]	接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>・ 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]</p> <p>性能値等</p> <p>※改修標準仕様書表5.10.1</p> <p>・以下による</p> <p>耐電圧 ( )</p> <p>防錆 ( )</p> <p>防滴 ( )</p> <p>電源 ( )</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ</p> <p>・有線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便房スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ</p> <p>・多接点スイッチ</p> <p>連続防止措置</p> <p>・行方 ・行わない</p>	<p>・ ガラス</p> <p>・ フロートガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2-4]</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 型板ガラスの厚さによる種類</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 合わせガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 高球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</p> <p>・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類</p> <p>・ 強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</p> <p>・ I類 ・ III類</p> <p>・ 熱線吸収板ガラス</p> <p>板ガラスによる種類、厚さによる種類</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 性能による種類</p> <p>・ I種 ・ 2種</p> <p>・ 複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 断熱性による区分</p> <p>・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</p> <p>日射取得率、日射遮蔽率による区分</p> <p>・ G ・ S</p> <p>乾燥気体の種類</p> <p>・ 空気 ・ アルゴン</p> <p>・ 熱線反射ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>・ 建具表による</p> <p>・ 日射熱遮へい性による区分</p> <p>・ I種 ・ 2種 ・ 3種</p> <p>耐久性による区分 (日射熱遮へい性が種の場合)</p> <p>・ A類 ・ B類</p> <p>・ 倍強度ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>・ 建具表による</p>
合板の種類	規格等	備考																
・普通合板 [C]	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等)																	
・天然木化粧合板 [C]	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)																	
・特殊加工化粧合板 [C]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板																	
・MDF [C]	接着の程度 (・1類 ・2類)																	
<p>・ 鋼製軽量建具</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.5.2-4]</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号・建具表による)</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>鋼板</p> <p>・亜鉛めっき鋼板</p> <p>・ビニル被覆鋼板</p> <p>・カラー鋼板</p> <p>・ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>召合わせ、縦小口包み板の性質</p> <p>※鋼板</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表5.5.1による</p> <p>mm 使用箇所 ( )</p> <p>標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法</p> <p>※建具表による</p>	<p>・ 建具用金物 [5.8.1-3]</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.2による</p> <p>・ 建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.3による</p> <p>・ 建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.4による</p> <p>・ 建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.5による</p> <p>・ 建具表による</p> <p>覆り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</p> <p>・ 建具表による</p> <p>シリンダ箱錠及びシリンダ本錠まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>グローザ錠 (品質・性能、試験方法は別表による)</p>	<p>・ 重量シャッター [5.11.2.3]</p> <p>シャッターの種類</p> <p>・ 管理用シャッター</p> <p>・ 外壁用防火シャッター</p> <p>・ 屋内用防火シャッター</p> <p>・ 防塵シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa</p> <p>開閉方式の種類</p> <p>・ 電動式 (手動併用)</p> <p>・ 手動式</p> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置</p> <p>(設置箇所 ・ 建具表による)</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・ 建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの急降下防止装置</p> <p>(設置箇所 ・ 建具表による)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・ JIS G 3302 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</p> <p>めっきの付着量</p> <p>※12又はF12</p> <p>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ</p> <p>ボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p>	<p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・ シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ グレイジングガスケット</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	ステンレス製	・ シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	樹脂製	・ グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																
ステンレス製	・ シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																
樹脂製	・ グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																
<p>・ ステンレス製建具</p> <p>性能値等 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2-5]</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号・建具表による)</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号・建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>・ 鏡面仕上げ</p> <p>工法</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工</p> <p>※普通曲げ</p> <p>・ 角出し曲げ</p>	<p>・ 鍵 [5.8.4]</p> <p>マスターキー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製作する</li> <li>・ 製作しない</li> <li>・ 既存のマスターキーに合わせる</li> </ul> <p>その他の鍵の製作本数</p> <p>※各室3本1組 (室名札付き)</p> <p>鍵箱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無し ・ 有り</li> </ul>	<p>・ 軽量シャッター [5.12.2-4]</p> <p>開閉方式の種類</p> <p>※手動式</p> <p>・ 電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ( ) Pa</p> <p>安全装置</p> <p>電動シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・ 建具表による)</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※Z06又はF06)</p> <p>・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※AZ30)</p> <p>スラットの形状</p> <p>・ インターロックンギ形</p> <p>・ オーバーラッピング形</p>	<p>・ ガラスブロック [5.14.5]</p> <p>呼び寸法 (mm)</p> <p>・ 160×160</p> <p>・ 200×200</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>・ 95</p> <p>・ 95</p> <p>色調</p> <p>目地幅 (mm)</p> <p>伸縮調整目地位置 (mm)</p> <p>防火性能</p> <p>壁用金属特及び補強材</p> <p>※図示による</p> <p>力骨</p> <p>材質</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法</p> <p>※ 径 5.5mm</p> <p>形状</p> <p>※はしご形状横筋及び縦筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー)</p> <p>シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1)</p> <p>金属製化粧カバー</p> <p>材質</p> <p>・ ステンレス製</p> <p>・ アルミニウム製</p> <p>寸法</p> <p>※ 図示による</p> <p>形状</p> <p>※ 図示による</p>															

(設計者等表示欄) ※

※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する

令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地公衆便所排水設備等更新工事		
改修特記仕様書 (その4)	令和4年版	A-04
国土交通大臣官房官庁営繕部		











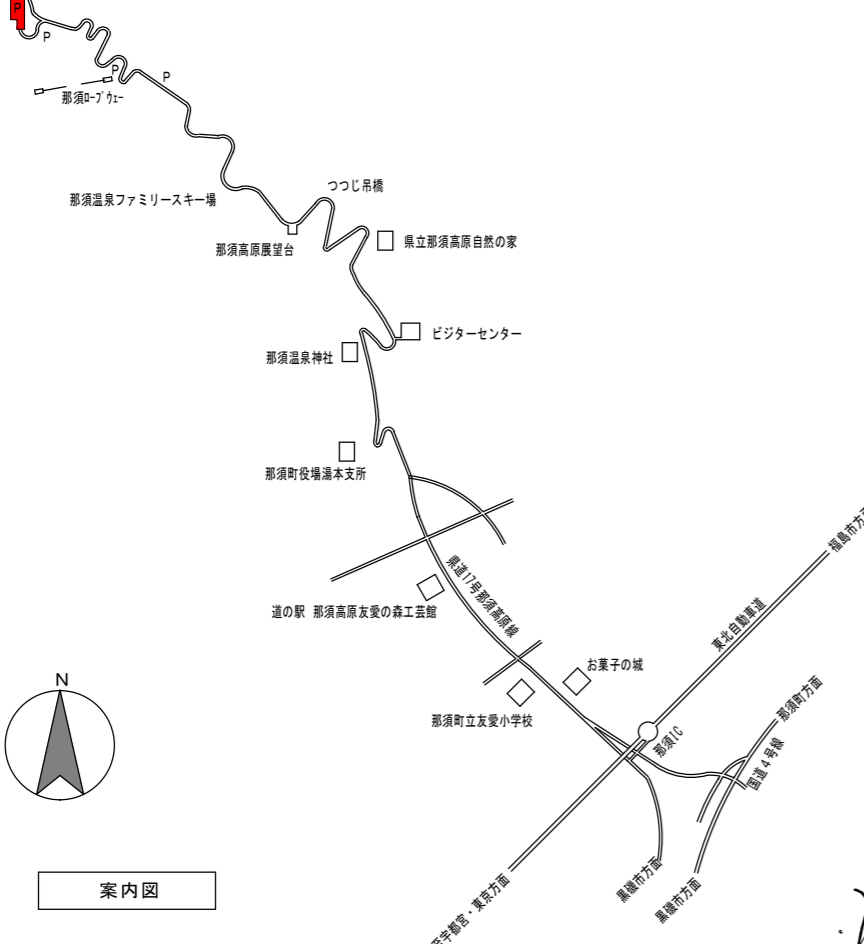
<p>・高力ボルト</p> <p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トルシヤ形高力ボルト</li> <li>・JIS形高力ボルト</li> </ul> <p>ボルトの縁幅距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>摩耗面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書8.14.2(1)による。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべり試験の実施</li> <li>・すべり係数試験</li> <li>・すべり耐力試験</li> </ul> <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(イ)による摩耗面の確認は、本試験で作成した対試験片で行うこと。</p> <p>・普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による</li> </ul> <p>ボルトの規格は、JIS B 1180とする。</p> <p>ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は六角ボルトとし、材料は鋼とする。</p> <p>ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの輪径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。</p> <p>ナットの規格は、JIS B 1181とする。</p> <p>ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。</p> <p>腐食</p> <p>※JIS B 1256による</p> <p>ボルトの縁幅距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>母屋又は鋼縁の取付けに使用するボルトの孔径</p> <p>※ねじの呼び径+1.0mm</p> <p>・溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトの縁幅距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>摩耗面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスト処理(表面粗度50<math>\mu</math>m<math>\alpha</math>以上)</li> <li>・りん酸塩処理</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべり試験の実施</li> <li>・すべり係数試験</li> <li>・すべり耐力試験</li> </ul> <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(7)又は(イ)による摩耗面の確認は、本試験で作成した対試験片で行うこと。</p> <p>・アンカーボルト</p> <p>構造用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ABR400</li> <li>・ABR400</li> </ul> <p>建築用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SS400</li> </ul> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>※標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SS400</li> </ul> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>※標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>ボルトの縁幅距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1縁幅距離及びボルト間隔)</li> </ul> <p>・溶接材料</p> <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による</li> </ul> <p>・スタッド</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ22</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・製作精度</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による</p> <p>通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法</p> <p>※H12報告第1464号第二号イ(2)による</p> <p>アンダーカットの寸法</p> <p>※H12報告第1464号第二号イ(3)による</p> <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</li> </ul> <p>・仮組</p> <p>仮組を行う範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験</p> <p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul>	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	φ8			φ19			φ22			<p>・溶接接合</p> <p>鋼材の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・鋼製エンドタブの切断する部分</p> <p>切断する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>切断範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。</li> <li>・なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</li> </ul> <p>切断面の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)による</li> </ul> <p>スカラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・入組、<math>\alpha</math>温度の溶接条件</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> <li>・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</li> </ul> <p>・溶接部の試験</p> <p>平12報告第1464号第二号に関する外観試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 突合せ継手による</li> <li>・抜き取り検査①</li> <li>・抜き取り検査②</li> </ul> <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JASS 6 10.4 [突合せ継手]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の抜き取り箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する</li> </ul> <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場溶接の場合</li> <li>※全数</li> <li>・工場現場溶接の場合</li> <li>※全数</li> </ul> <p>・錆止め塗装</p> <p>塗料の範囲</p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲</p> <p>※改修標準仕様書8.17.2(1)(7)～(9)による</p> <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による</li> <li>・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリッパで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類</li> <li>※A種</li> <li>・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類</li> <li>・</li> </ul> <p>・耐火被覆</p> <p>種類、材料、工法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高耐火ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラップ張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・アンカーボルト等の設置等</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>建築用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>建築用アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種</li> <li>・B種</li> </ul> <p>柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類</p> <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※A種</li> <li>・B種</li> </ul> <p>・鉄骨プレース設置後の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部・部分)	・乾式吹付けロックウール				・半乾式吹付けロックウール				・湿式ロックウール				・				・				・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・				・耐火材巻付け	・高耐火ロックウール			・ラップ張りモルタル塗り				・耐火塗料				<p>8-4 あと加工アンカー工事</p> <p>・あと加工アンカー</p> <p>材料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属系アンカー</li> <li>・引張耐力</li> <li>・せん断耐力</li> <li>・アンカー本体の径及び埋込み長さ</li> <li>・セット方式</li> <li>・接合部の種類、径、長さ</li> <li>・性能確認試験</li> <li>・試験方法及び試験数</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・接着系アンカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引張耐力</li> <li>・せん断耐力</li> <li>・アンカーの種類</li> <li>・接着剤の品質</li> <li>・有機系</li> <li>・無機系</li> <li>・アンカー径の径及び埋込み長さ</li> <li>・図示による( )</li> <li>・アンカー径の種類</li> <li>・アンカー径の新設壁内への定着の長さ</li> <li>・図示による( )</li> <li>・性能確認試験</li> <li>・試験方法及び試験数</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>埋込み配管等の探査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に印出しを行う</li> <li>・はつり出しによる</li> </ul> <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※引張試験機による引張試験</li> <li>確認強度</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>8-5 グラウト工事</p> <p>・柱底均しモルタル及びグラウト材</p> <p>・柱底均しモルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※無収縮モルタル</li> </ul> <p>・グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>混和材</th> <th>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネット等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメント</td> <td>JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td>土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>コンシステンシー</td> <td>J-Lローによる落下時間</td> <td>標準値完了から3分以内の値</td> <td>8±2秒</td> </tr> <tr> <td>ブリージング</td> <td>練り混ぜ2時間後のブリージング率</td> <td></td> <td>2.0%以下</td> </tr> <tr> <td>凝結開始時間</td> <td></td> <td>1時間以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝結時間</td> <td></td> <td>10時間以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無収縮性</td> <td>経時</td> <td>7日</td> <td>収縮しない</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度</td> <td>経時</td> <td>3日</td> <td>20.0 N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>経時</td> <td>28日</td> <td>40.0 N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td></td> <td></td> <td>0.30%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験方法</p> <p>1) 圧入試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場混合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。</p> <p>2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>8-6 連続繊維シート</p> <p>連続繊維の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭素繊維</li> <li>・アラミド繊維</li> </ul> <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>・下地処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひび割れ部改修</li> <li>範囲</li> <li>・図示による( )</li> <li>工法の種類</li> <li>・</li> <li>・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>連続繊維補強材の強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引張強度試験</li> <li>※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による</li> <li>・</li> <li>試験数量</li> <li>・図示による( )</li> </ul>	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネット等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	コンシステンシー	J-Lローによる落下時間	標準値完了から3分以内の値	8±2秒	ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率		2.0%以下	凝結開始時間		1時間以上		凝結時間		10時間以内		無収縮性	経時	7日	収縮しない	圧縮強度	経時	3日	20.0 N/mm <sup>2</sup> 以上		経時	28日	40.0 N/mm <sup>2</sup> 以上	塩化物量			0.30%以下	<p>8-7 耐震スリット新設工事</p> <p>・仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・耐震スリットの方式、幅及び深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方式</li> <li>・完全</li> <li>・部分</li> <li>幅及び深さ</li> <li>・図示による( )</li> <li>設置箇所</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査</p> <p>既存除去部の埋込み配管等の探査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に印出しを行う</li> <li>・はつり出しによる</li> </ul> <p>・耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐火材</li> <li>使用箇所及び仕様</li> <li>・図示による( )</li> <li>・選材</li> <li>使用箇所及び仕様</li> <li>・図示による( )</li> <li>除去部の補修</li> <li>※撤去材と同一材で補修</li> <li>・</li> </ul> <p>8-8 土工等及び地盤工事</p> <p>・埋戻し及び盛土</p> <p>材料及び工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料(山砂)</li> <li>工法(機械による付き詰め)</li> <li>※改修標準仕様書表8.28.11による</li> <li>○A種 適用場所(配管施設の掘削部分)</li> <li>○B種 適用場所(自然林内及び自然土の配管施設掘削土部分)</li> <li>・C種 適用場所( )</li> <li>土質( )</li> <li>受渡場所( )</li> <li>・D種 適用場所( )</li> <li>(品質 細粒分(75<math>\mu</math>m以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。)</li> </ul> <p>・杭地盤</p> <p>支持層の位置及び土質(基礎くい目の先端位置含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> <li>・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法</li> <li>・図示による( )</li> <li>・杭の継手の箇所数、材料、工法等</li> <li>・図示による( )</li> <li>・杭の溶接継手</li> <li>・杭の溶接継手の質量</li> <li>・図示による( )</li> <li>・溶接部の確認</li> <li>・図示による( )</li> <li>・杭頭の処理</li> <li>・処理しない</li> <li>・処理する</li> <li>処理方法(切断にともなう補強方法含む)</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・杭頭の中詰め材料</p> <p>基礎のコンクリートと同質のもの</p> <p>杭の精度</p> <p>水平方法の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杭径の1/4かつ100mm以下</li> <li>・評定等の評価内容による</li> <li>・</li> <li>・建て込み時の杭の鉛直度</li> <li>・1/100以内</li> <li>・評定等の評価内容による</li> <li>・</li> <li>記録する施工状況等</li> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>○砂利地盤</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○再生クラッシュサン</li> <li>切込砂利又は切込砕石</li> </ul> <p>砂利厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※60mm</li> </ul> <p>・捨コンクリート地盤</p> <p>捨コンクリートの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※50mm</li> </ul> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>※普通コンクリート</li> </ul> <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※18N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>スラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※15cm又は18cm</li> </ul>	<p>・付着強度試験</p> <p>※JIS A 6009(建築用土着材)による</p> <p>・</p> <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>・仕上がり</p> <p>補強工事後の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> <p>8-24.7</p> <p>8-25.2</p> <p>8-12.4</p> <p>8-25.2</p> <p>8-28.3</p> <p>8-2.15][8.28.4](4.3.8)</p> <p>8-2.15][8.28.4]</p> <p>8-2.15][8.28.4]</p>
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																
φ8																																																																																																		
φ19																																																																																																		
φ22																																																																																																		
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部・部分)																																																																																															
・乾式吹付けロックウール																																																																																																		
・半乾式吹付けロックウール																																																																																																		
・湿式ロックウール																																																																																																		
・																																																																																																		
・																																																																																																		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																	
・																																																																																																		
・耐火材巻付け	・高耐火ロックウール																																																																																																	
・ラップ張りモルタル塗り																																																																																																		
・耐火塗料																																																																																																		
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネット等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																																	
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																	
砂	土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。																																																																																																	
コンシステンシー	J-Lローによる落下時間	標準値完了から3分以内の値	8±2秒																																																																																															
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率		2.0%以下																																																																																															
凝結開始時間		1時間以上																																																																																																
凝結時間		10時間以内																																																																																																
無収縮性	経時	7日	収縮しない																																																																																															
圧縮強度	経時	3日	20.0 N/mm <sup>2</sup> 以上																																																																																															
	経時	28日	40.0 N/mm <sup>2</sup> 以上																																																																																															
塩化物量			0.30%以下																																																																																															

(設計者等表示欄) ※

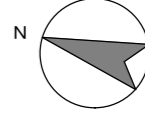
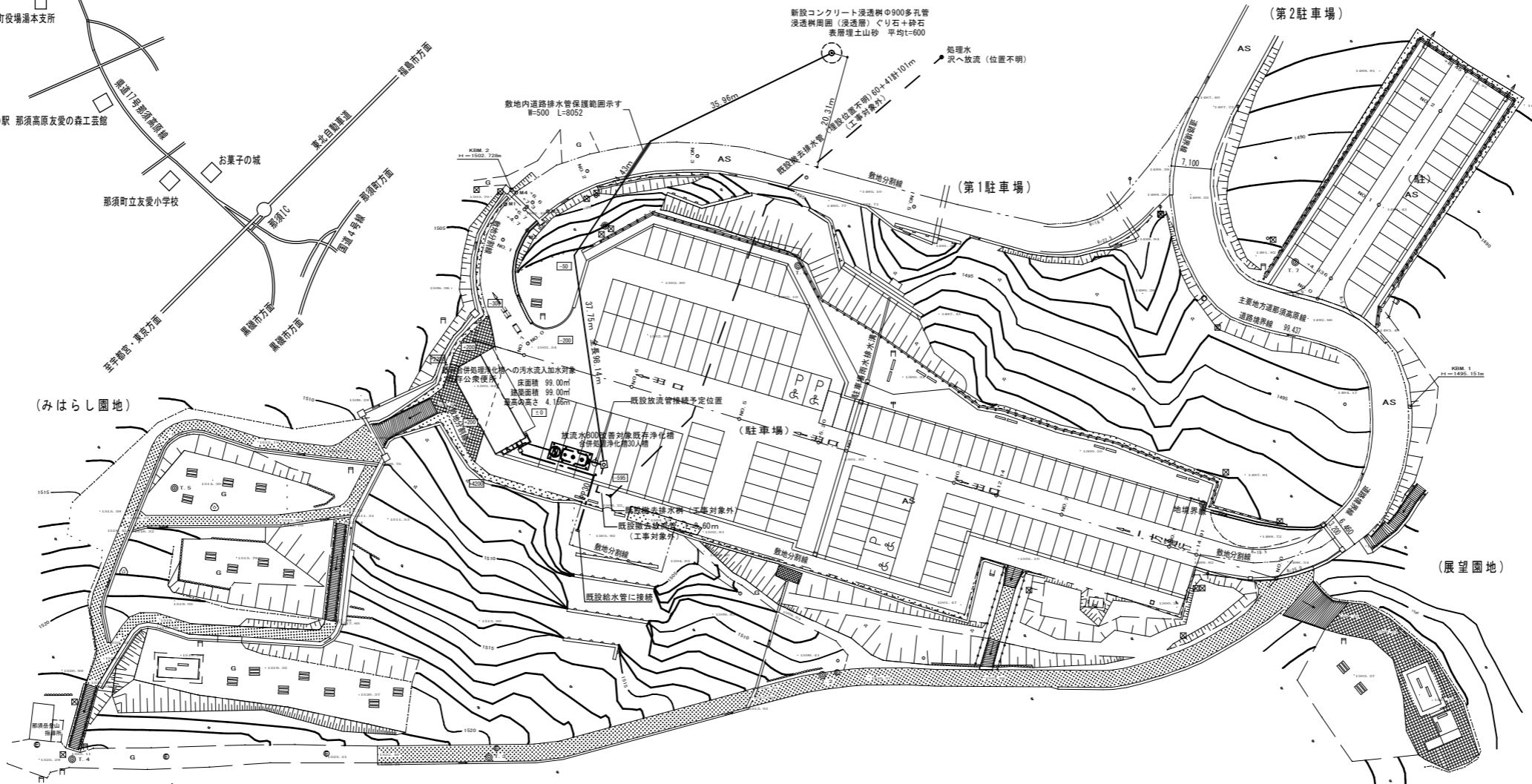
令和5年度(繰越) 崎の茶屋登山口園地公衆便所排水設備等更新工事		
改修特記仕様書(その9)	令和4年版	A-O-9
国土交通大臣官房官庁営繕部		

※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する

計画地 栃木県那須郡那須町湯本内地内  
(峰の茶屋登山口園地内)



案内図

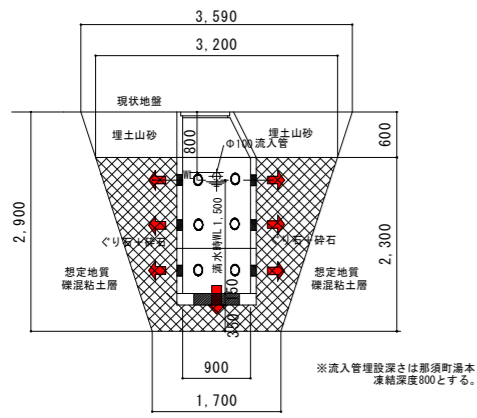


配置図 S=1/500

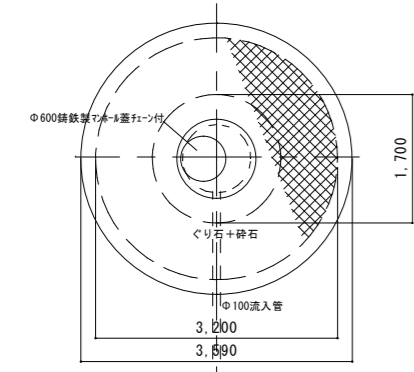
凡例

	新設下水道用ポリエチレン管 全長73.75m (水平距離) φ100 JSWASK-14 同等品
	撤去既存埋設管φ100 全長101.0m (水平距離) 工事対象外 既設撤去予定に伴う埋設放流管φ30 全長7.70m
	敷地内道路配水管保護範囲示す W=500 L=7175
	新設コンクリート製点検樹 1000 x 900 H=1045 駐車場設置部分はT25耐重型マンホールの蓋フィン付
	新設コンクリート製φ900多孔浸透樹 鑄鉄製マンホールの蓋フィン付

工事名称	令和5年度(雄越)峰の茶屋登山口園地 公共便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地内	図面名称	配置図・案内図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/500 A3-1/1,000
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-10
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 浩	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市相川町新屋244-6	



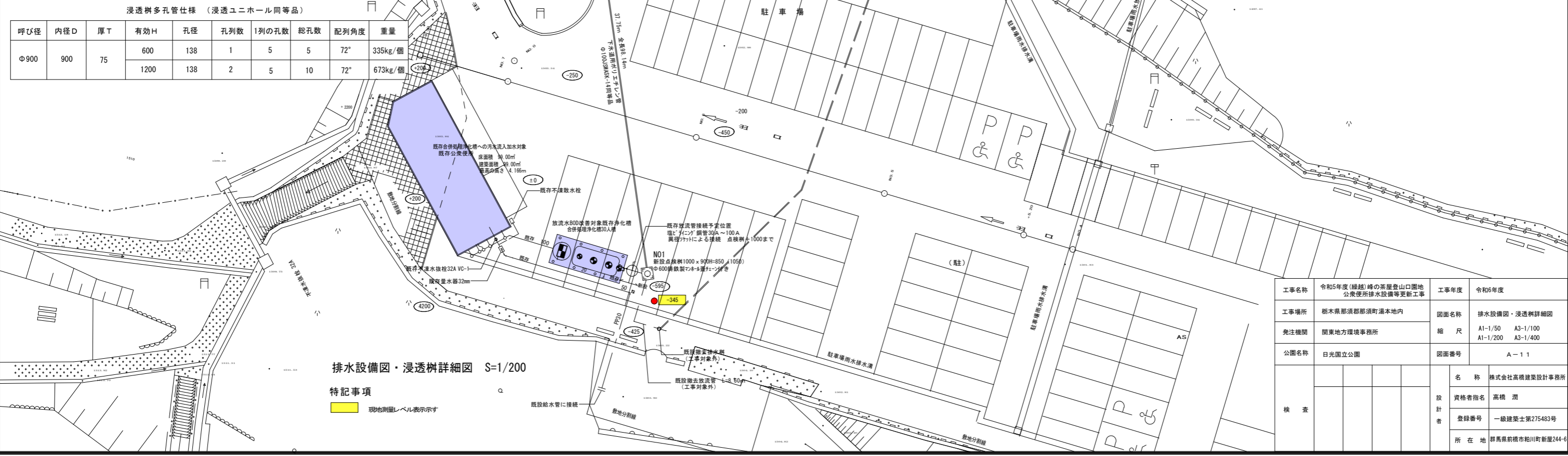
※流入管埋設深さは新設雨水  
浄化深度800とする。



コンクリート製浸透柵詳細図 S=1/50

浸透柵多孔管仕様 (浸透ユニホール同等品)

呼び径	内径D	厚T	有効H	孔径	孔列数	1列の孔数	総孔数	配列角度	重量
φ900	900	75	600	138	1	5	5	72°	335kg/個
			1200	138	2	5	10	72°	673kg/個



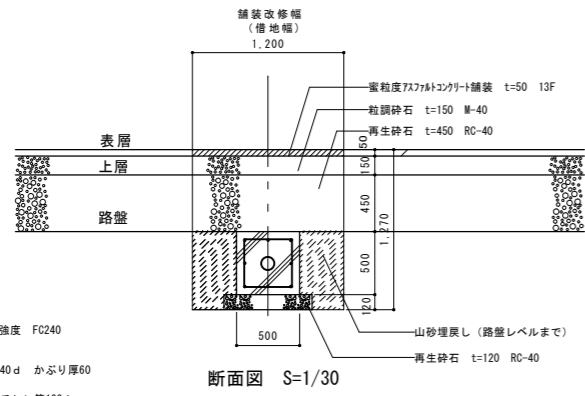
排水設備図・浸透柵詳細図 S=1/200

特記事項  
 現地測量レベル表示す

工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本城内	図面名称	排水設備図・浸透柵詳細図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100 A1-1/200 A3-1/400
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-11
検査	名称 株式会社高橋建築設計事務所 資格者指名 高橋 浩 登録番号 一級建築士第275483号 所在地 群馬県前橋市相川町新屋244-6		

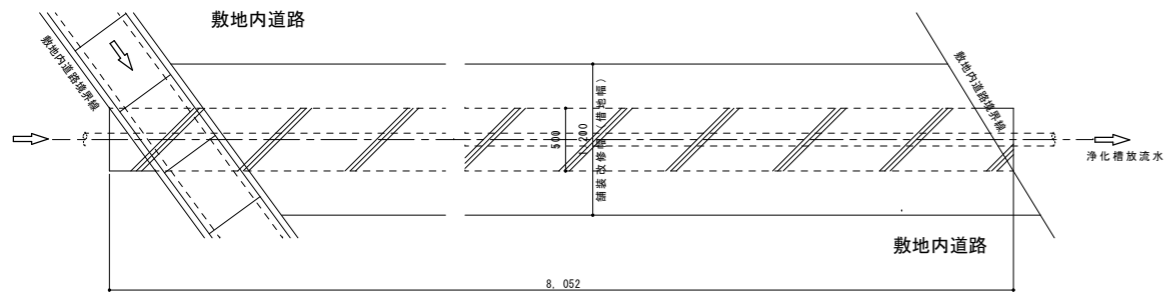


敷地内道路横断排水管補強図



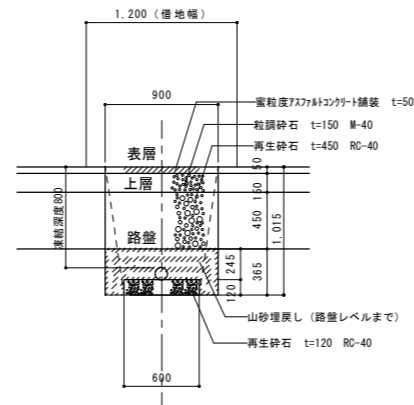
特記事項  
現場打ちコンクリート強度 FC240  
スランプ18  
鉄筋φ345  
鉄筋の接手は重ね接手40d かぶり厚60  
型枠は t12合板  
配水管下水道用ポリエチレン管100A

断面図 S=1/30



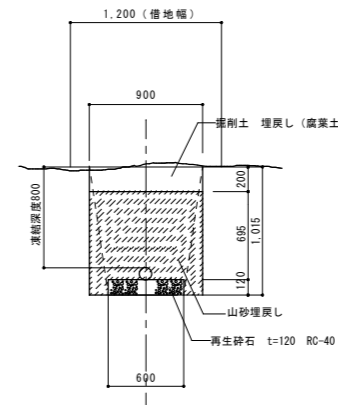
平面図 S=1/30

駐車場舗装部分配管復旧断面図



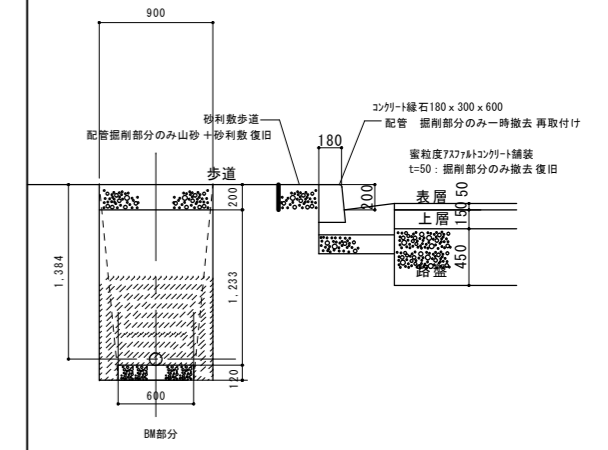
断面図 S=1/30

傾斜地及びのり面配管状況図



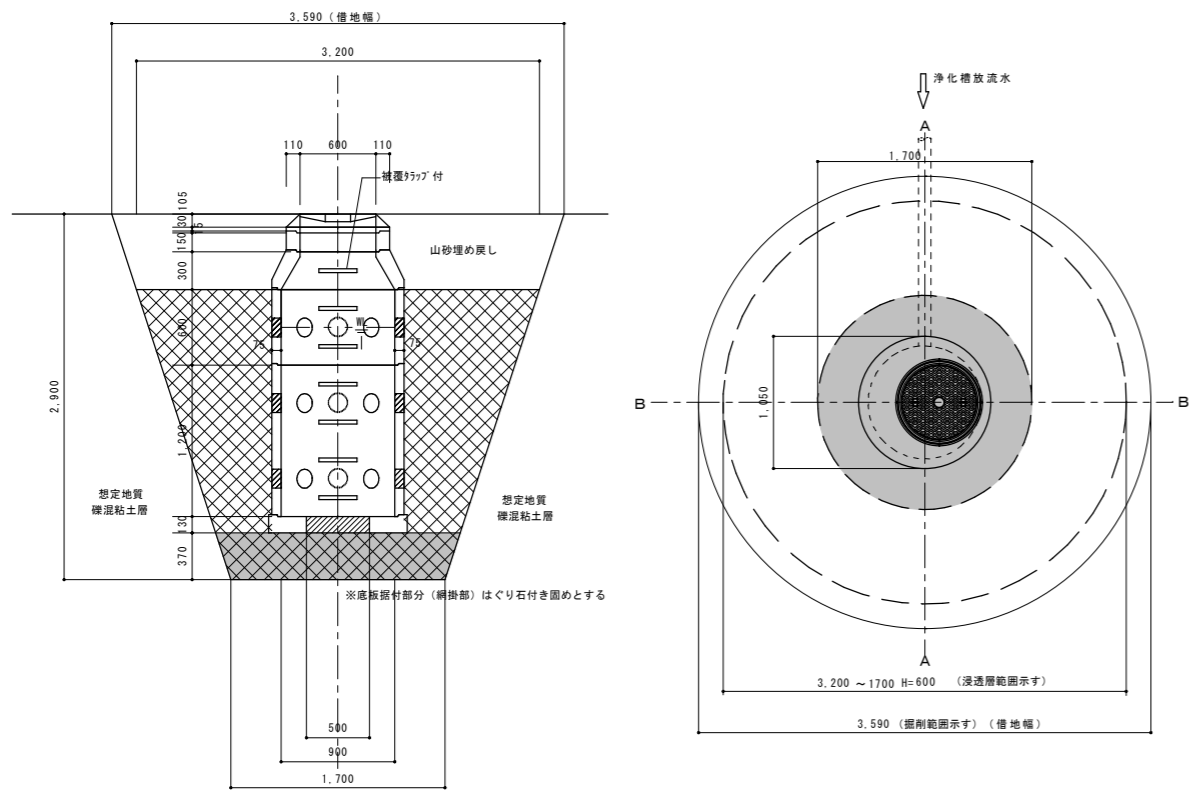
断面図 S=1/30

駐車場～歩道部分断面図



断面図 S=1/30

浸透枳 詳細図



A-A断面図 S=1/30

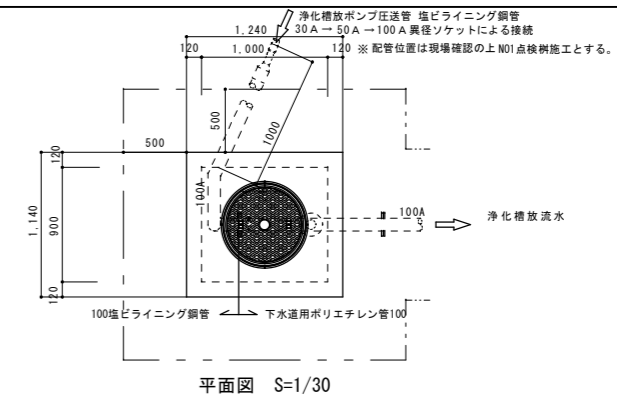
平面図 S=1/30

B-B断面図 S=1/30

浸透枳多孔管仕様 (浸透ユニホール同等品)

呼び径	内径D	厚T	有効H	孔径	孔列数	1列の孔数	総孔数	配列角度	重量
φ900	900	75	600	138	1	5	5	72°	335kg/個
			1200	138	2	5	10	72°	673kg/個

NO1点検枳 詳細図



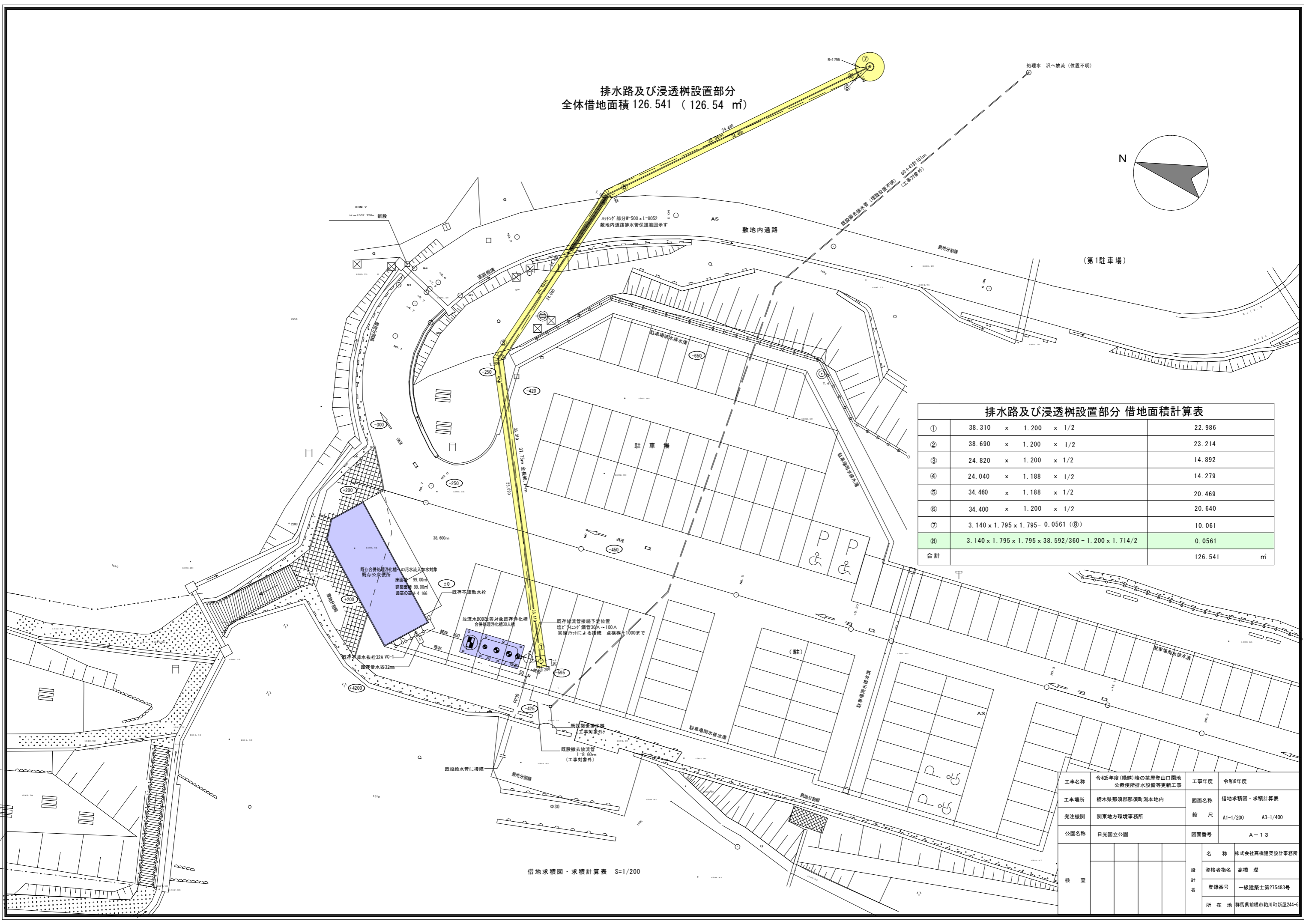
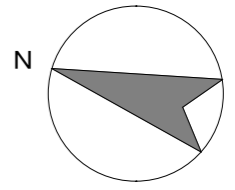
平面図 S=1/30

断面図 S=1/30

特記事項  
現場打ちコンクリート強度 FC240  
スランプ18  
鉄筋φ345  
鉄筋の接手は重ね接手40d かぶり厚60  
型枠は t12合板  
配水管下水道用ポリエチレン管 100  
鋼鉄製耐摩型ポリマ蓋 φ600 T25F-1、鍵付き

工事名称	令和5年度(緑地)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本城内	図面名称	各部詳細図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/30 A3-1/60
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-12
検査		名称	株式会社高橋建築設計事務所
		資格者指名	高橋 潤
		登録番号	一級建築士第275483号
		所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6

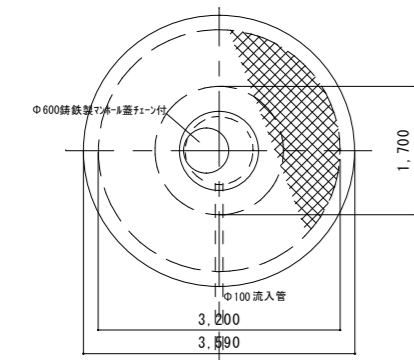
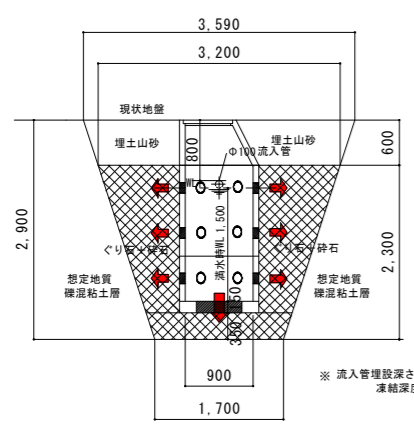
排水路及び浸透柵設置部分  
全体借地面積 126.541 (126.54 m<sup>2</sup>)



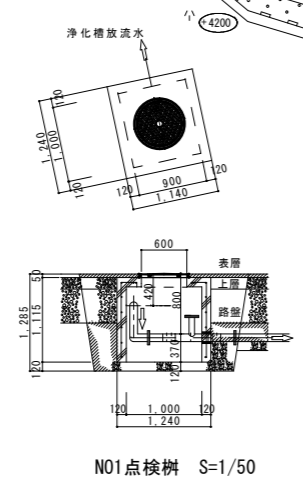
①	38.310 x 1.200 x 1/2	22.986
②	38.690 x 1.200 x 1/2	23.214
③	24.820 x 1.200 x 1/2	14.892
④	24.040 x 1.188 x 1/2	14.279
⑤	34.460 x 1.188 x 1/2	20.469
⑥	34.400 x 1.200 x 1/2	20.640
⑦	3.140 x 1.795 x 1.795 - 0.0561 (⑧)	10.061
⑧	3.140 x 1.795 x 1.795 x 38.592/360 - 1.200 x 1.714/2	0.0561
合計		126.541 m <sup>2</sup>

借地求積図・求積計算表 S=1/200

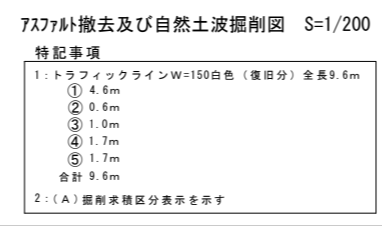
工事名称	令和5年度(繰越)時の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本地内	図面名称	借地求積図・求積計算表
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/200 A3-1/400
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-13
検査	名称 株式会社高橋建築設計事務所 資格者指名 高橋 潤 登録番号 一級建築士第275483号 所在地 群馬県前橋市船川町新屋244-6		



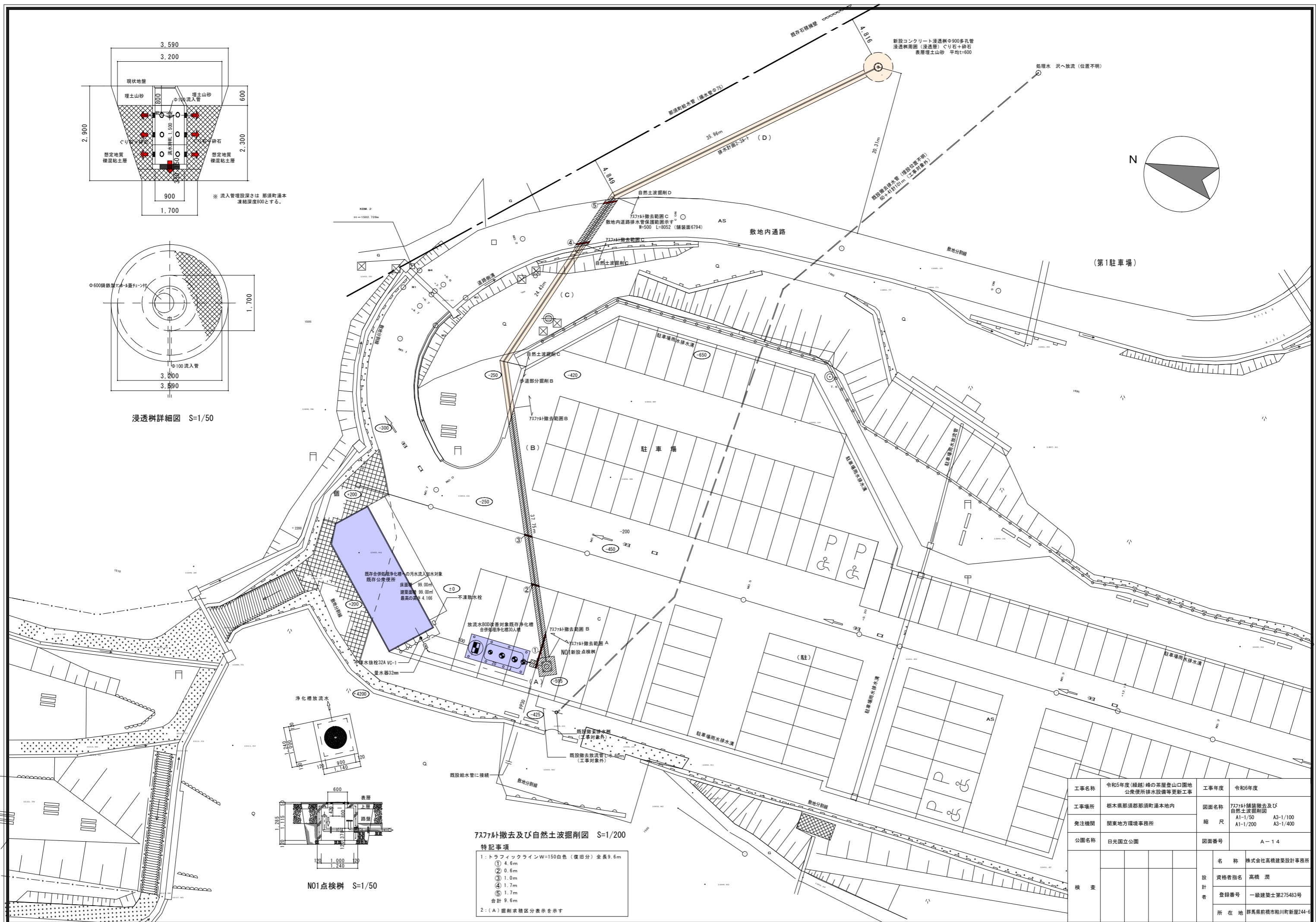
浸透柵詳細図 S=1/50



NO1点検柵 S=1/50



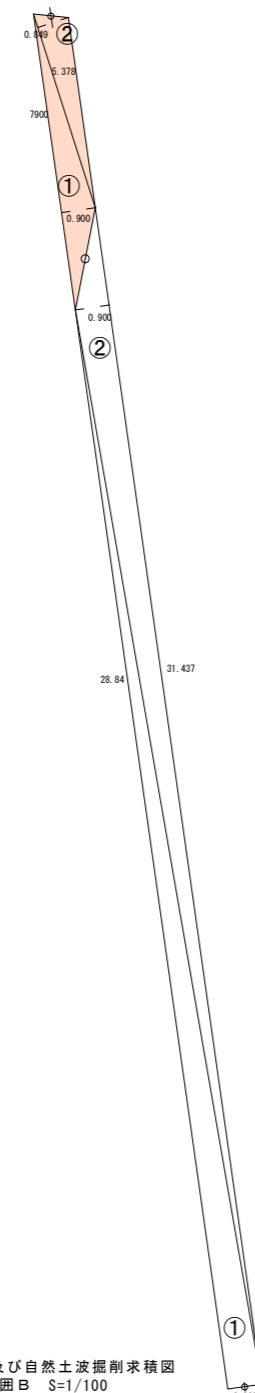
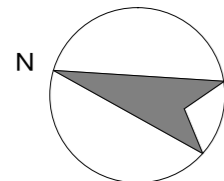
アスファルト撤去及び自然土波掘削図 S=1/200  
特記事項  
1: トラフィックラインW=150白色(復旧分)全長9.6m  
① 4.6m  
② 0.6m  
③ 1.0m  
④ 1.7m  
⑤ 1.7m  
合計 9.6m  
2: (A)掘削区画区分表示を示す



工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地	図面名称	777#排水去範囲A及び 自然土波掘削図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100 A1-1/200 A3-1/400
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-14
検査		名称	株式会社高橋建築設計事務所
		資格者指名	高橋 潤
		登録番号	一級建築士第275483号
		所在地	群馬県前橋市柏川町新屋244-6

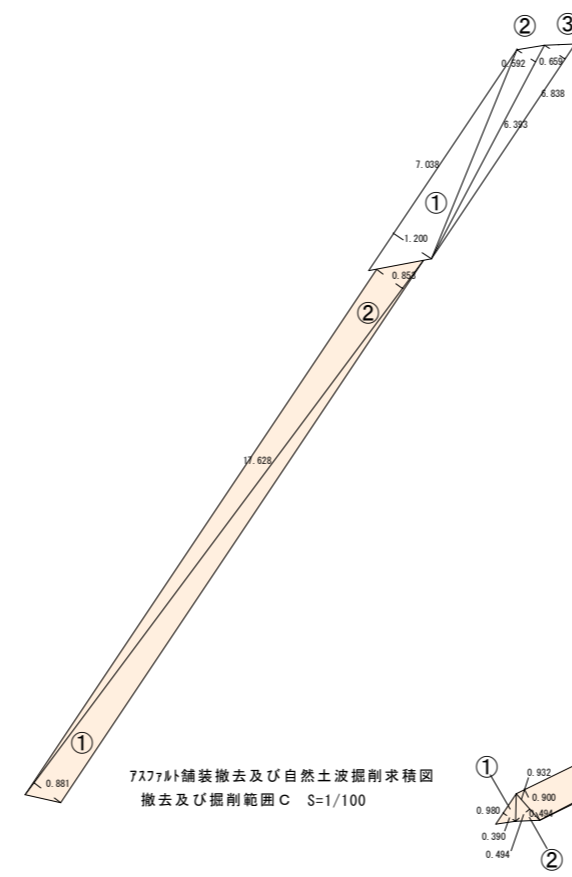


弧の面積計算  
 $1.795 \times 1.795 \times 3.14 / 12.54 = 0.806$   
 $(360/28.69/2 = 0.791)$   
 $0.806 - 0.791 = 0.015$

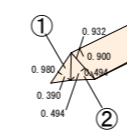


アスファルト舗装撤去求積図  
撤去範囲A S=1/100

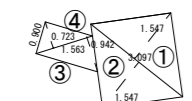
アスファルト舗装撤去及び自然土波掘削求積図  
撤去及び掘削範囲B S=1/100



アスファルト舗装撤去及び自然土波掘削求積図  
撤去及び掘削範囲C S=1/100



自然土波掘削求積図  
撤去及び掘削範囲D S=1/100



アスファルト舗装撤去範囲B 求積表

記号	底面	高さ	倍面積	面積
①	28.840	0.900	25.956	12.978
②	31.437	0.900	25.956	12.978
合計				25.956 m <sup>2</sup>

歩道部分掘削範囲B 求積表

記号	底面	高さ	倍面積	面積
①	7.900	0.849	6.707	3.353
②	5.378	0.900	4.840	2.420
合計				5.773 m <sup>2</sup>

自然土波掘削範囲D 求積表

記号	底面	高さ	倍面積	面積
①	0.980	0.390	0.374	0.187
②	0.932	0.494	0.460	0.230
③	34.352	0.900	30.916	15.458
④	34.110	0.900	30.699	15.349
⑤	1.795 × 1.795 × 3.14		10.117	10.117
⑥	別計算			- 0.015
合計				41.326 m <sup>2</sup>

アスファルト舗装撤去範囲A 求積表

記号	底面	高さ	倍面積	面積
①	3.097	1.547	4.791	2.395
②	3.097	1.547	4.791	2.395
③	1.563	0.942	1.472	0.736
④	1.563	0.723	1.030	0.515
合計				6.041 m <sup>2</sup>

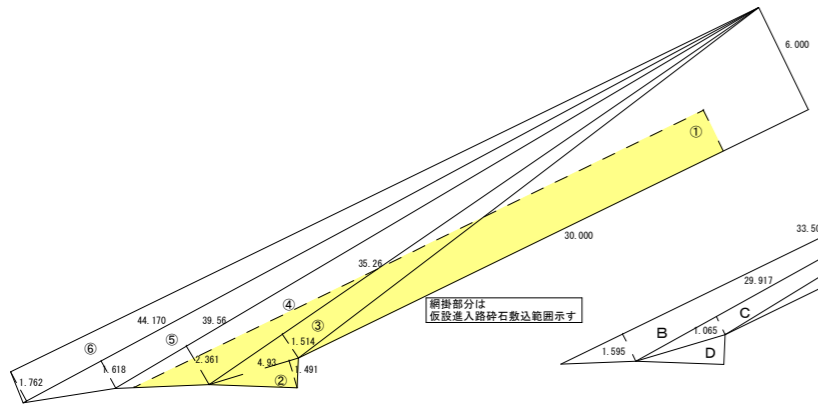
アスファルト舗装撤去範囲C 求積表

記号	底面	高さ	倍面積	面積
①	7.038	1.200	8.445	4.222
②	6.393	0.592	3.784	1.892
③	6.838	0.659	4.506	2.253
合計				8.367 m <sup>2</sup>

自然土波掘削範囲C 求積表

記号	底面	高さ	倍面積	面積
①	17.628	0.881	15.530	7.765
②	17.628	0.857	15.107	7.553
合計				15.318 m <sup>2</sup>

工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地内	図面名称	アスファルト舗装撤去及び自然土波掘削 求積図、求積表
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/100 A3-1/200
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-15
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	



自然林樹木、熊笹刈取り面積  
求積図 S=1/200

自然林樹木、熊笹刈取り面積求積表

記号	計算	対象部分面積
①	$30.000 \times 6.000 \times 1/2 = 90.000$	
②	$4.930 \times 1.491 \times 1/2 = 3.675$	
③	$35.260 \times 1.514 \times 1/2 = 26.691$	
④	$39.560 \times 2.361 \times 1/2 = 46.700$	
⑤	$44.170 \times 1.618 \times 1/2 = 35.733$	
⑥	$44.170 \times 1.762 \times 1/2 = 38.913$	
合計	241.712	241.71㎡

自然林樹木、仮設進入路 砕石敷 (人工砕石)

記号	計算	対象部分面積
A	$25.000 \times 2.400 \times 1/2 = 30.000$	
B	$33.504 \times 1.595 \times 1/2 = 26.719$	
C	$29.917 \times 1.065 \times 1/2 = 15.930$	
D	上記②参照	3.675
合計	76.324	76.32㎡

指定仮設リスト

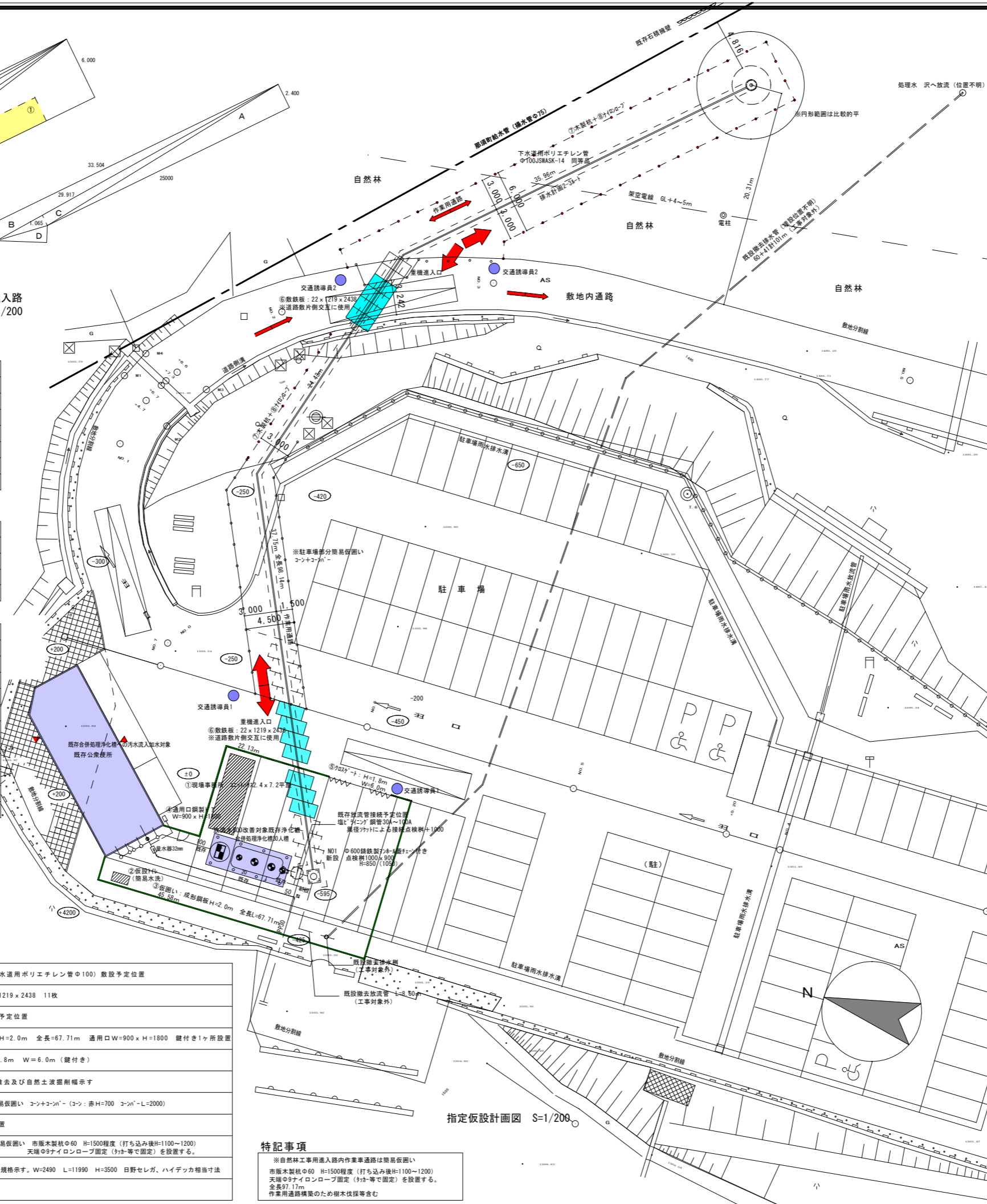
記号	仮設名称	存置期間	数量
①	現場事務所 エントリ2.4 x 7.2平屋	4ヶ月	1ヶ所
②	仮設トイレ (簡易水洗)	4ヶ月	1ヶ所
③	成形鋼板 H=2.0m	4ヶ月	67.71m
④	通用口鋼製ト W=900 x H=1800	4ヶ月	1ヶ所
⑤	加圧ト W=6.0m H=1.8m	4ヶ月	1ヶ所
⑥	敷き鉄板 t=22 x 1219 x 2438	4ヶ月	11枚
⑦	自然林内仮囲い φ60既製品丸太 H=1.5m x 2.0m		51本
⑧	自然林内仮囲い 1/2ロング φ9mm <い型に>カク固定		97.17m
⑨	仮設進入路砕石敷 (人工砕石) t=150		76.32㎡
⑩	仮設進入路砕石敷 (場外処分) t=150		76.32㎡
⑪	交通誘導員B		

凡例

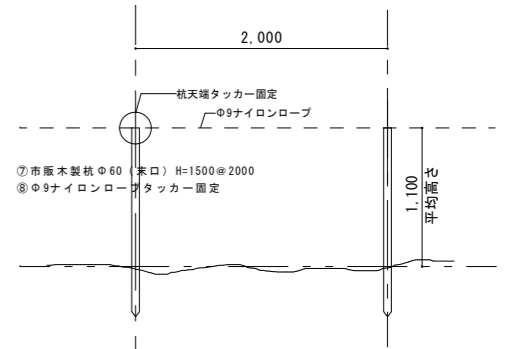
	排水管 (下水用ポリエチレン管φ100) 敷設予定位置
	敷き鉄板 22 x 1219 x 2438 11枚
	敷き鉄板移動予定位置
	成形鋼板 H=2.0m 全長=67.71m 通用口W=900 x H=1800 鍵付き1ヶ所設置
	加圧ト H=1.8m W=6.0m (鍵付き)
	727ト舗装撤去及び自然土波掘削幅示す
	駐車場部分簡易仮囲い コン+コン+ (コン: 赤H=700 コン+L=2000)
	コーン単独設置
	自然林部分簡易仮囲い 市販木製杭φ60 H=1500程度 (打ち込み後H=1100~1200) 天端φ9ナイロンロープ固定 (カク等で固定) を設置する。
	大型観光バス規格示す。W=2490 L=11990 H=3500 日野セレガ、ハイデッカ相当寸法
	交通誘導員

特記事項

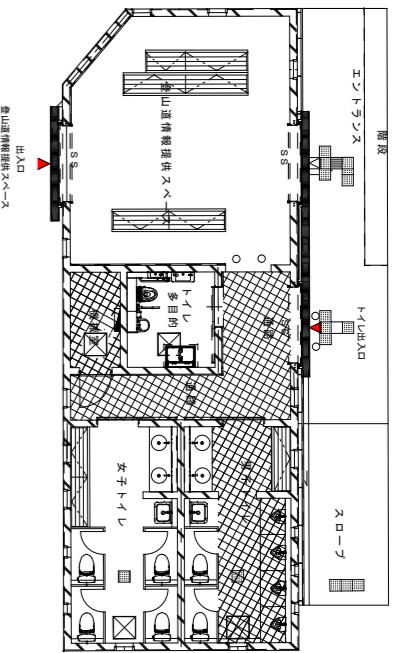
※自然林工事用進入路内作業通路は簡易仮囲い  
市販木製杭φ60 H=1500程度 (打ち込み後H=1100~1200) 天端φ9ナイロンロープ固定 (カク等で固定) を設置する。全長97.17m  
作業用通路構築のための樹木伐採等含む



指定仮設計画図 S=1/200



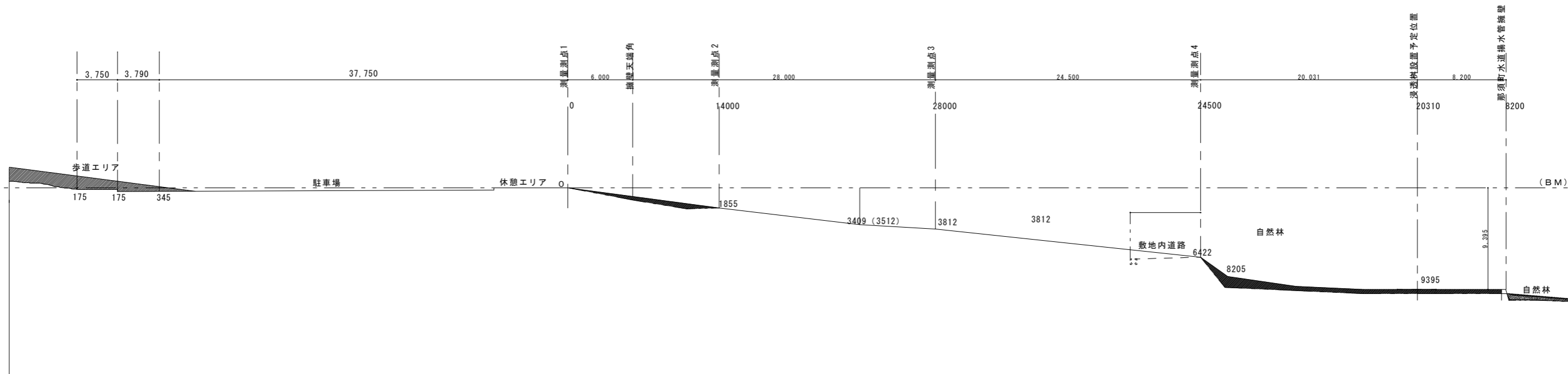
自然林内簡易仮囲い詳細図 S=1/30



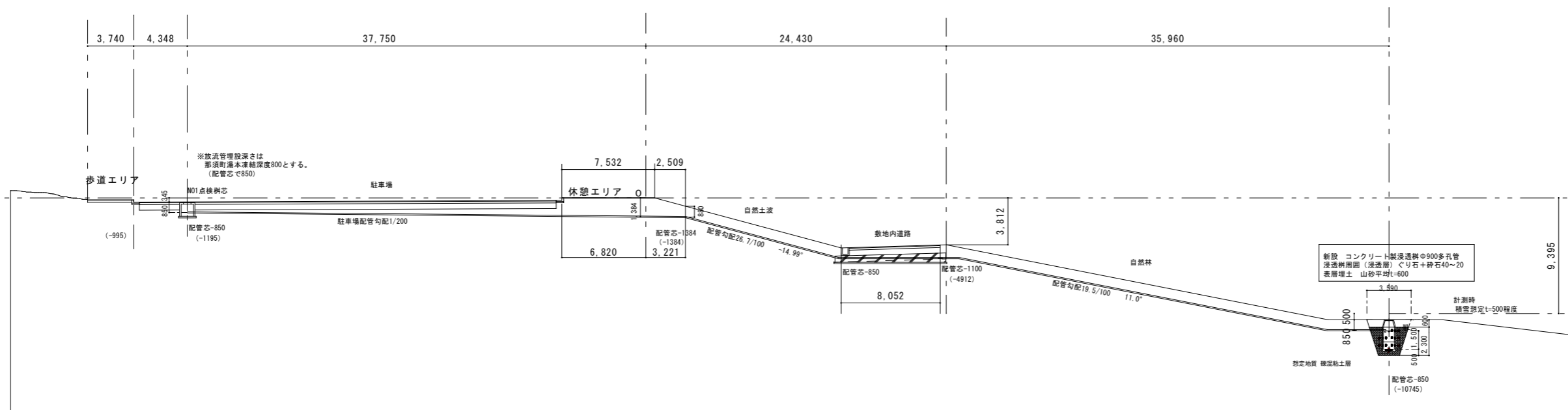
既存公共便所仮設計画図 S=1/100

既存建物概要  
構造: 鉄筋コンクリート壁構造平屋  
便所7戸床下ヒット付き  
床面積: 99.00㎡  
建築面積: 99.00㎡  
最高の高さ: 4.166m

工事名称	令和5年度(締結)峰の茶屋登山口園地 公共便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内	図面名称	指定仮設計画図 A1-1/30 A3-1/60 A1-1/100 A3-1/200 A1-1/200 A3-1/400
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-16
検査		名称	株式会社高橋建設事務所
		資格者指名	高橋 潤
		登録番号	一級建築士第275483号
		所在地	群馬県前橋市松川町新屋244-6

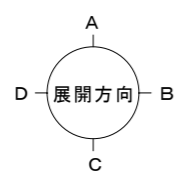
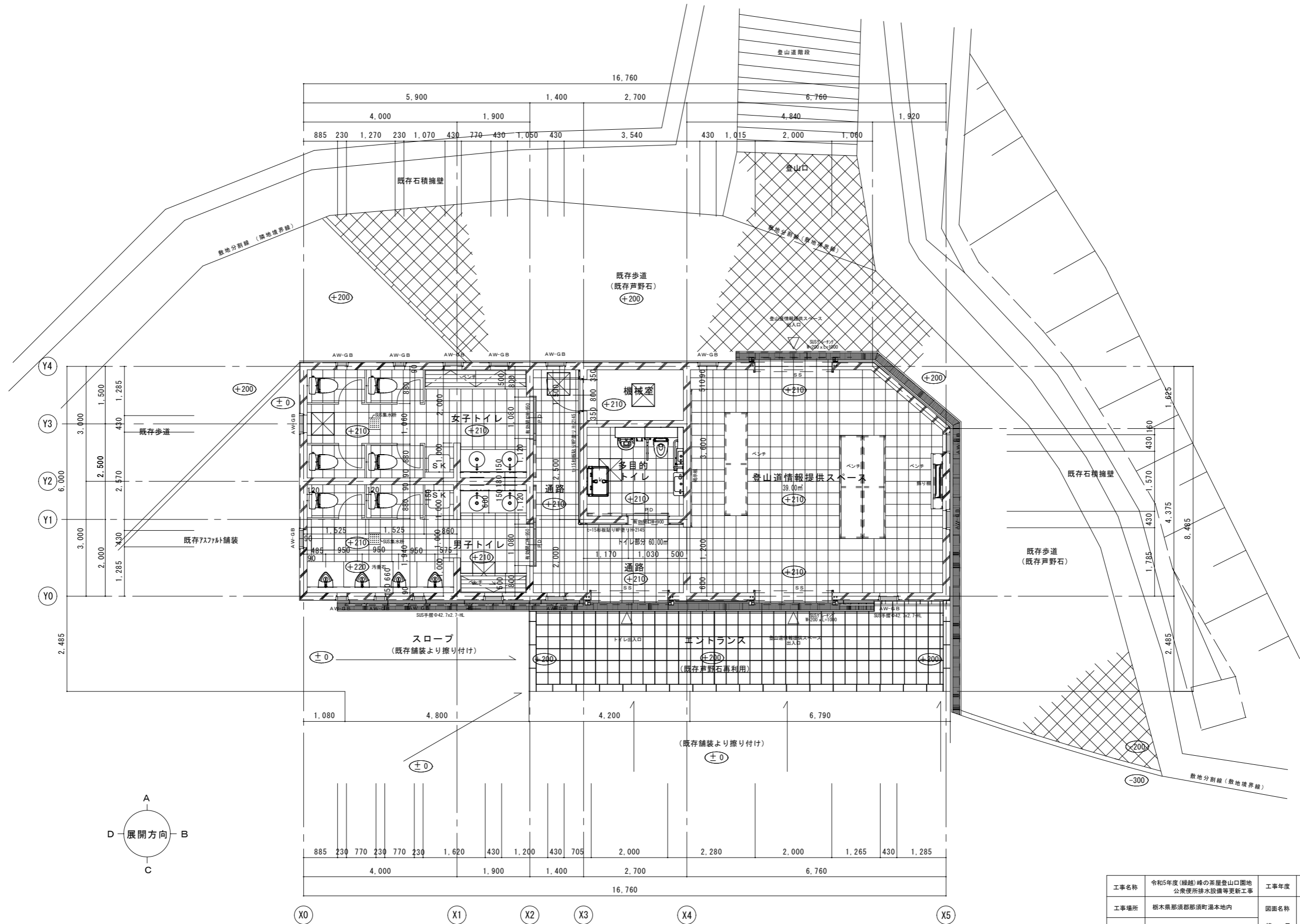


2月29日峰の茶屋レベル確認図 S=1/200  
 ※ 道路、駐車場の一部を除いて積雪有り  
 レベル確認測点の水平距離と配管設備縦断面図長さは関連して  
 いないため注意願います。



配管設備縦断面図 S=1/200

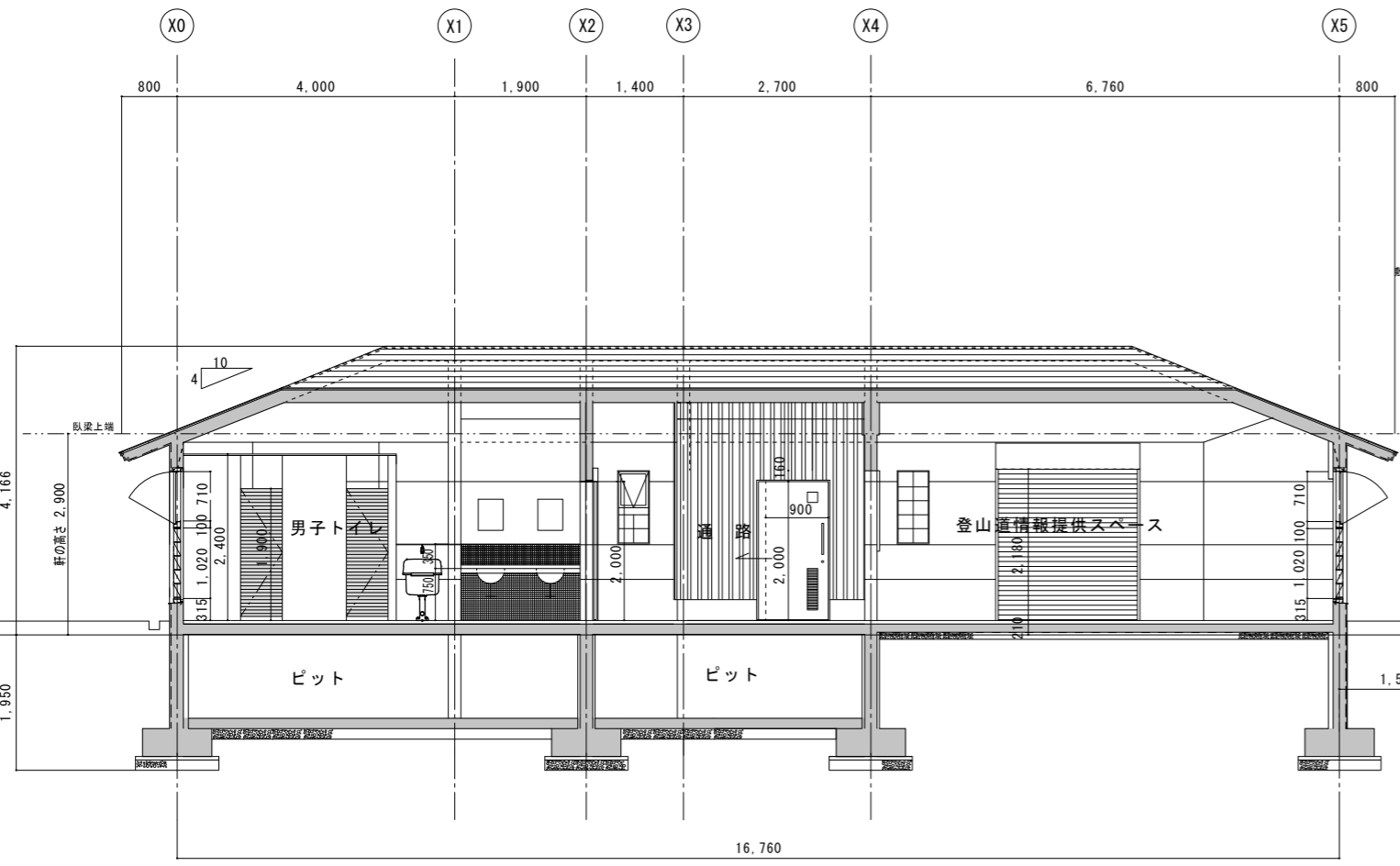
工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地	図面名称	配管設備縦断面図(参考図) レベル確認図(参考図)
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/200 A3-1/400
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-17
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	



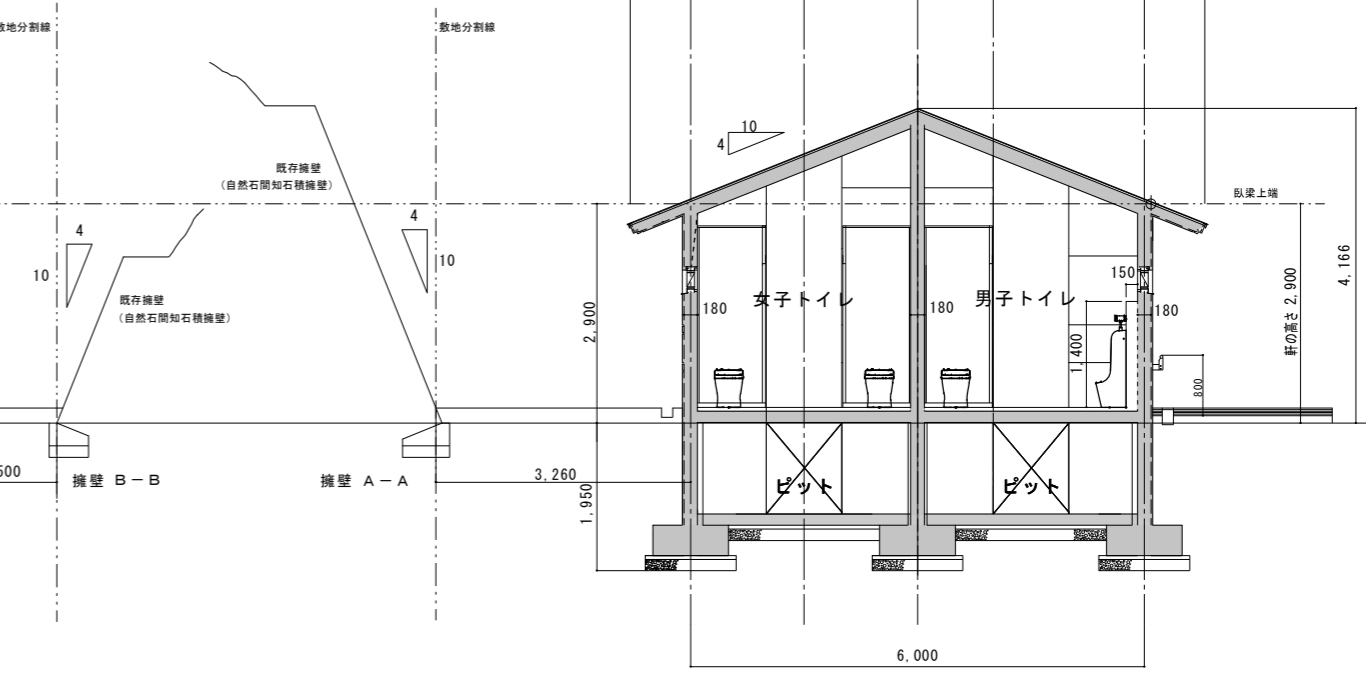
既存平面図詳細図 S=1/50  
 特記事項  
 床面積99.00㎡ 建築面積99.00㎡

- 注記  
 タイル等の割付は施工図を作成し  
 監督員の承諾を得ること
- 凡例  
 床下点検口600角(鍵付)を示す  
 既存戸野石再利用範囲を示す

工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本地内	図面名称	既存 公衆便所平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-18
検査		名称	株式会社高橋建築設計事務所
		資格者指名	高橋 潤
		登録番号	一級建築士第275483号
		所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6



A断面図 S=1/50



B断面図 S=1/50

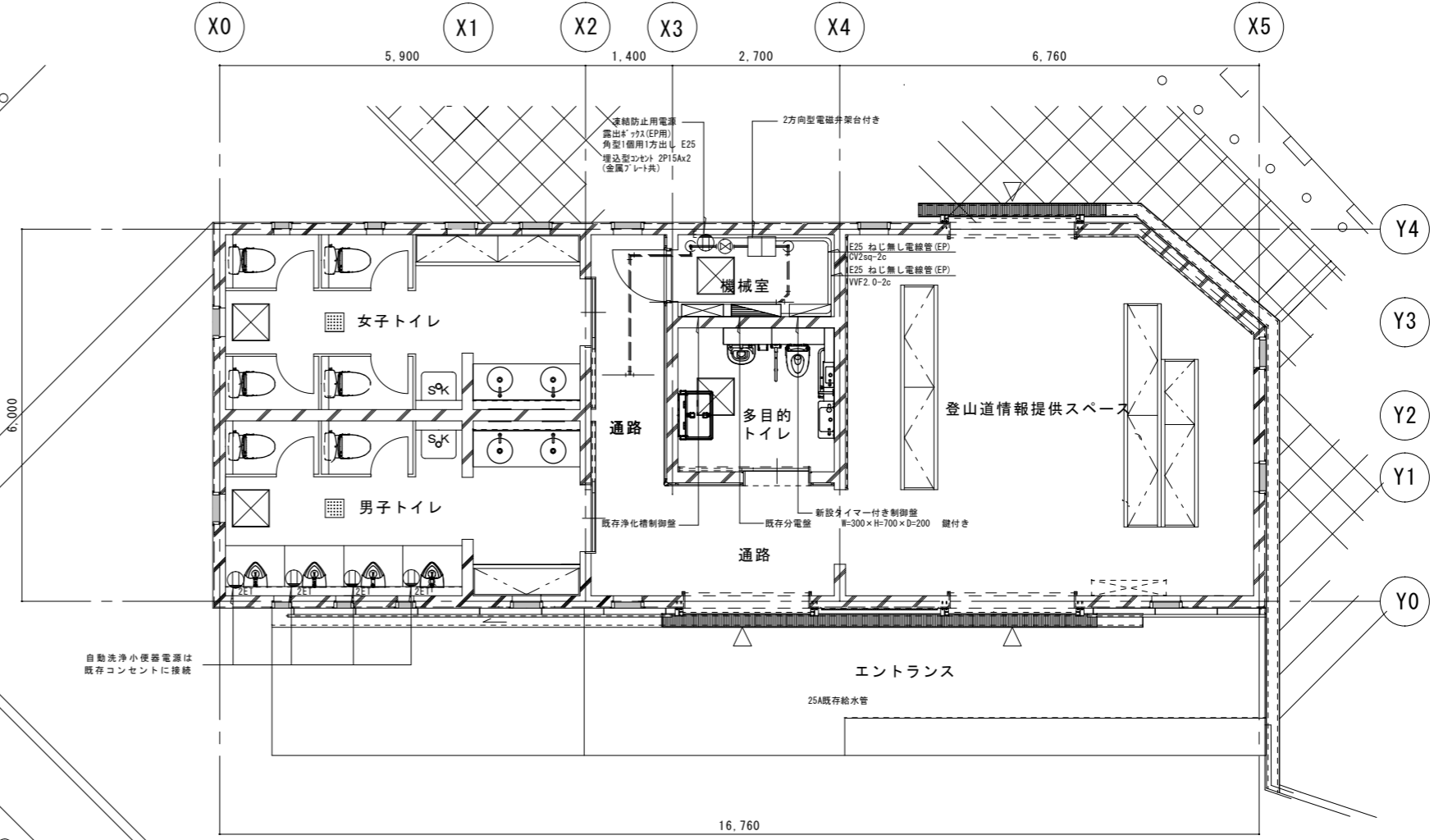
工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地	図面名称	既存 公衆便所断面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/100 A3-1/200
公園名称	日光国立公園	図面番号	A-19
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	



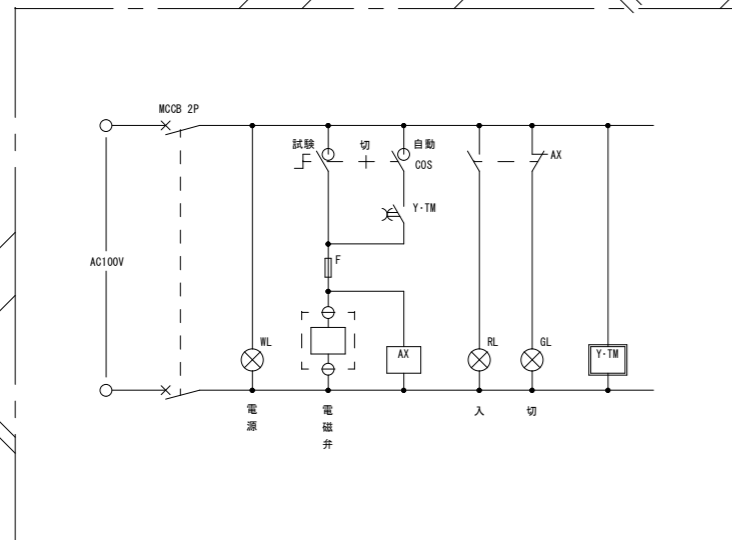
男子トイレ小便器更新器具表

取外し小便器	更新小便器
UFH507CHR + T60B1U	UFH507CR + TEA62ADFS

※ 既存コンセントから電源を取る場合は側面専用穴より付属コードを使用して接続する。側面穴は小便器幅FL+100

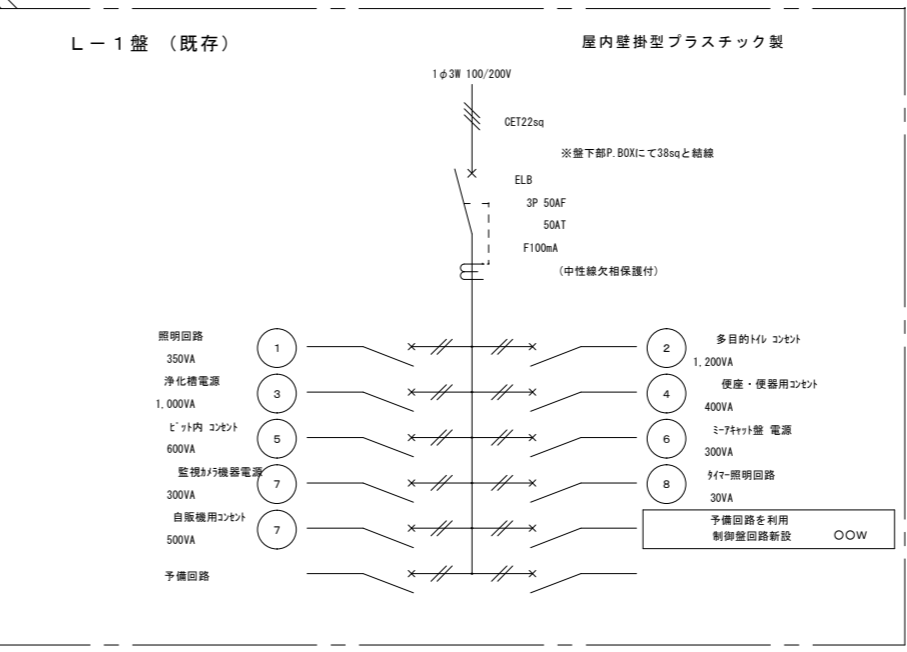
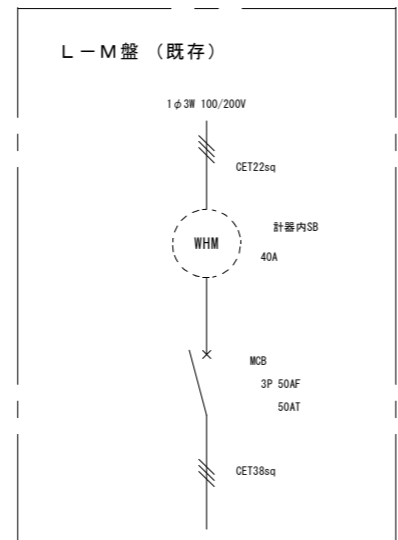


加水設備配線図 S=1/50



新設タイマー付電磁弁制御盤  
W=300×H=700×D=200 鍵付き

タイマー付電磁弁制御盤

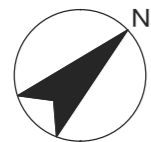
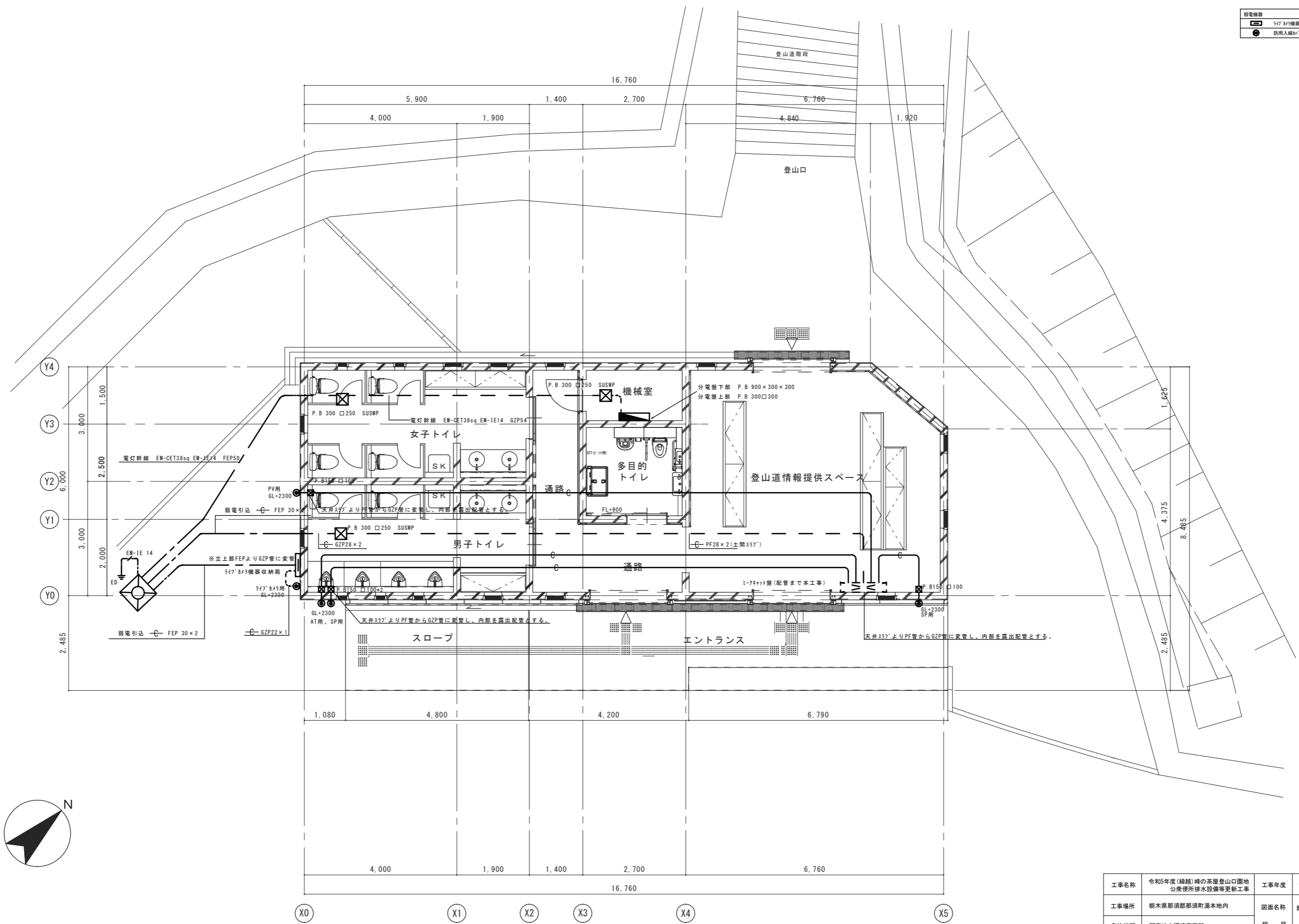


既存分電盤結線図

工事名称	令和5年度(継続)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本城内	図面名称	加水設備配線平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	E-02
検査		名称	株式会社高橋建築設計事務所
		資格者指名	高橋 潤
		登録番号	一級建築士第275483号
		所在地	群馬県前橋市松川町新屋244-6



弱電機器	547 347機器収納箱
防雨入線	PF



幹線・弱電設備図 S=1/50

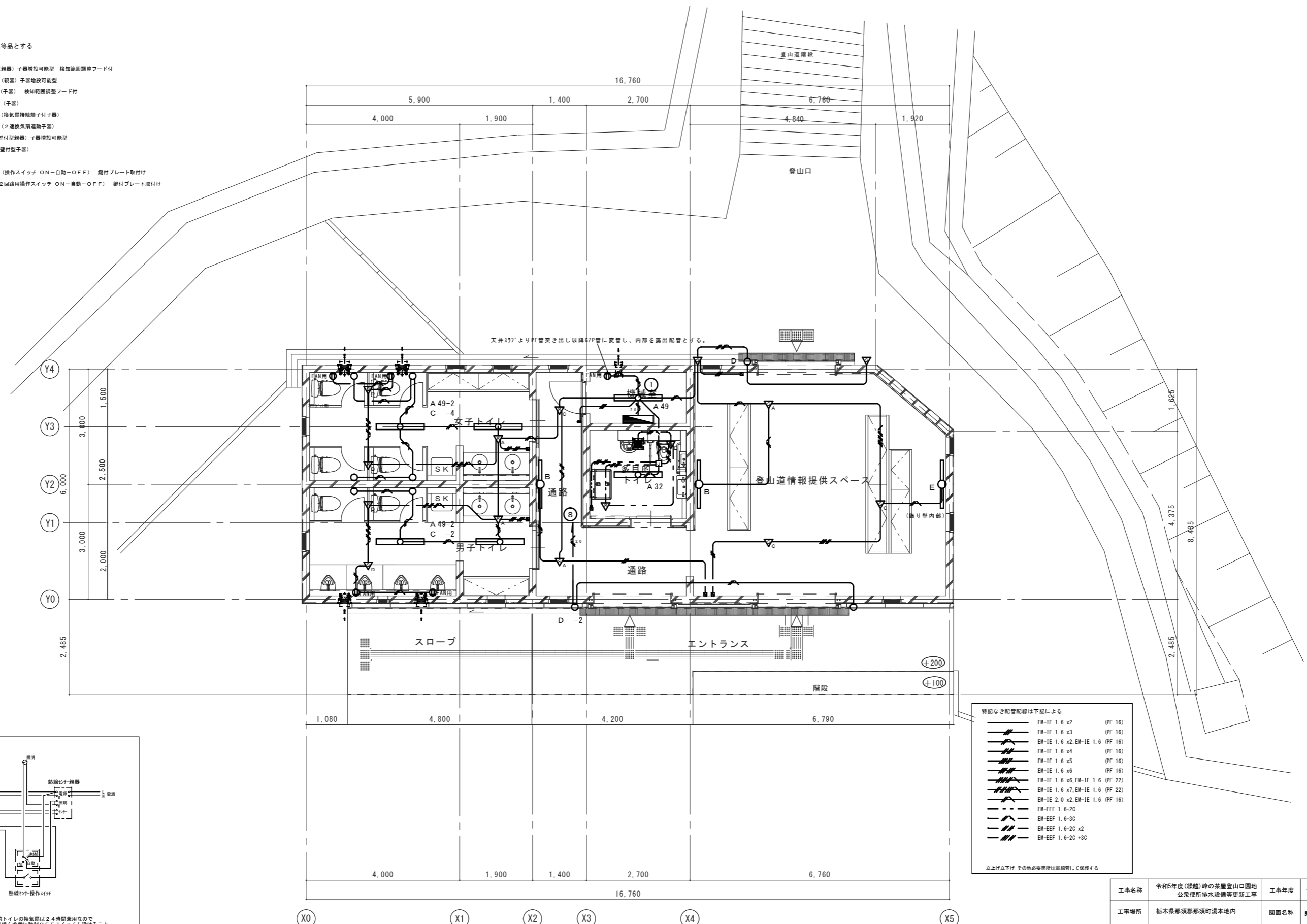
特記なき配管配線は下記による  
 導入線 (PF 22)

工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地内	図面名称	既存 幹線・弱電設備 平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	E-03
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市船川町新屋244-6	



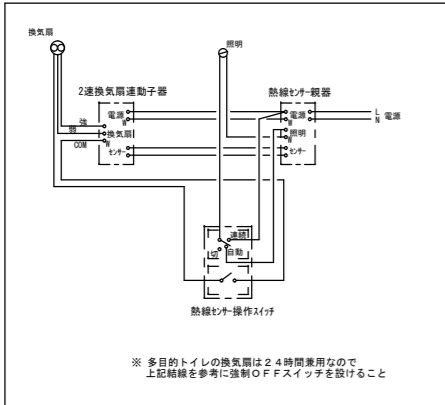
熱線センサー機器は以下同等品とする

- ▽ WTK2401K (観音) 子器増設可能型 検知範囲調整フード付
- ▽A WTK24818 (観音) 子器増設可能型
- ▽B WTK2910K (子器) 検知範囲調整フード付
- ▽C WTK29129 (子器)
- ▽D WTK29318 (換気扇接続端子付子器)
- ▽E WTK2943K (2速換気扇連動子器)
- ▽F WTK3481 (壁付型観音) 子器増設可能型
- ▽G WTK3911 (壁付型子器)
- WTC58207W (操作スイッチ ON-自動-OFF) 壁付プレート取付け
- WTC5822W (2回路用操作スイッチ ON-自動-OFF) 壁付プレート取付け



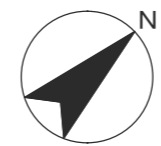
天井357より軒管突き出し以降62P管に変管し、内部を露出配管とする。

- 特記なき配管記号は下記による
- EM-IE 1.6 x2 (PF 16)
  - EM-IE 1.6 x3 (PF 16)
  - EM-IE 1.6 x2, EM-IE 1.6 (PF 16)
  - EM-IE 1.6 x4 (PF 16)
  - EM-IE 1.6 x5 (PF 16)
  - EM-IE 1.6 x6 (PF 16)
  - EM-IE 1.6 x6, EM-IE 1.6 (PF 22)
  - EM-IE 1.6 x7, EM-IE 1.6 (PF 22)
  - EM-IE 2.0 x2, EM-IE 1.6 (PF 16)
  - EM-EEF 1.6-2C
  - EM-EEF 1.6-3C
  - EM-EEF 1.6-2C x2
  - EM-EEF 1.6-2C x3C
- 立上げ立下げ その他必要箇所は電線管にて保護する

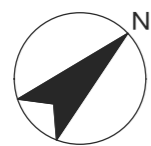
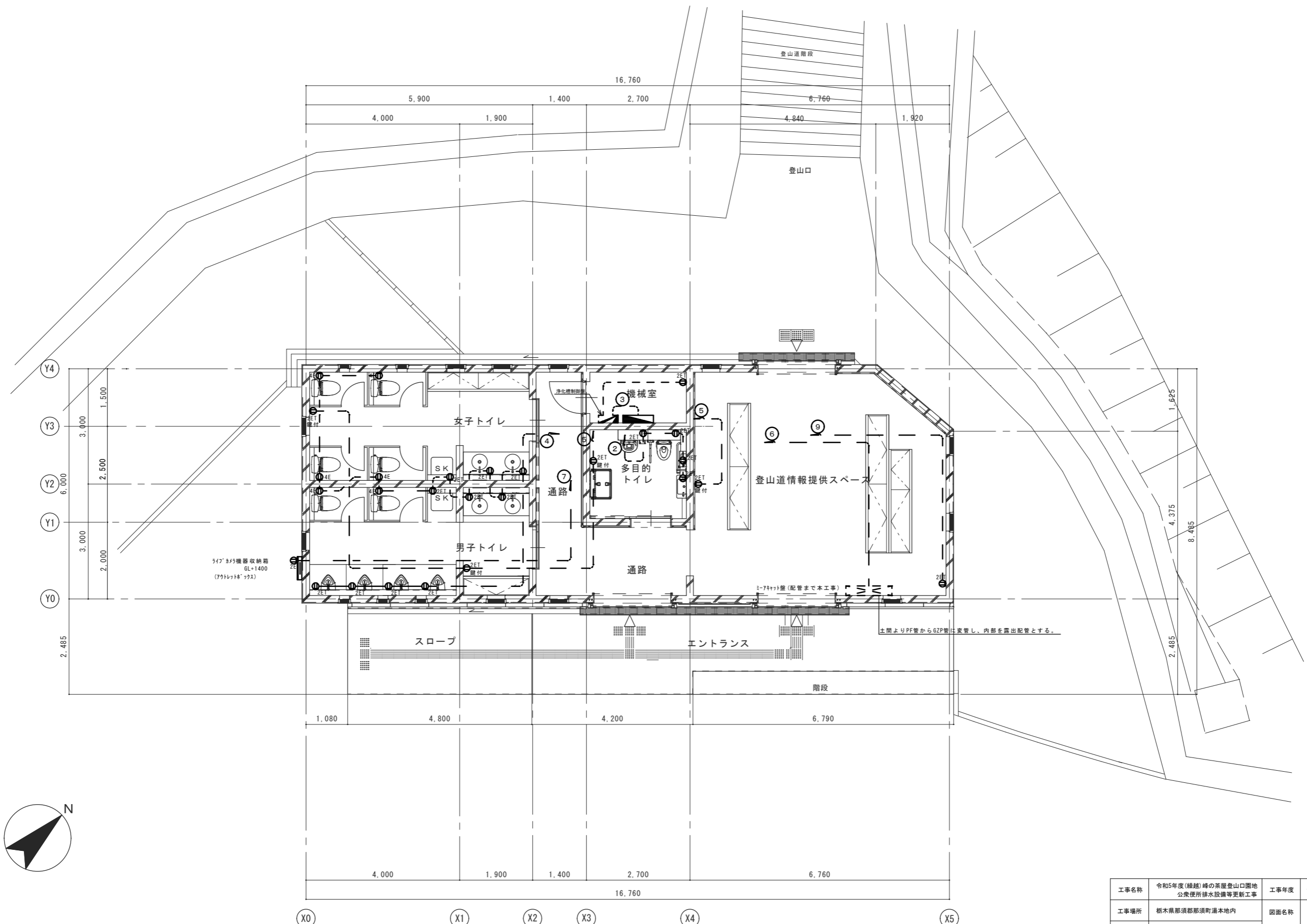


※ 多目的トイレの換気扇は24時間運用なので上記配線を参考に強制OFFスイッチを設けること

電灯設備平面図 S=1/50



工事名称	令和5年度(緑越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本本地内	図面名称	既存 電灯設備 平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	E-04
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	



コンセント設備 平面図 S=1/50

特記なき配管配線は下記による  
 〰〰 EM-1E 2.0 x2, EM-1E1.6 ライン内 (PF 16)  
 〰〰 EM-1E 2.0 x2, EM-1E1.6 コンクリート内 (PF 16)  
 - - - EM-1E 2.0 x2, EM-1E1.6 露出 (GZP16)  
 立上げ立下げ その他必要箇所は電線管にて保護する

工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本本地内	図面名称	既存 コンセント設備平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	E-05
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	

特記仕様書

I 工事概要
1. 工事場所 栃木県那須郡那須町浦木内

Table with 7 columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積(m2), 消防法指令別表第Ⅰの区分, 施設の種類, 伊南工務

Table with 2 columns: 工事種目, 工 事 種 別 (屋内, 屋外)

4. 指定部分 ● 無 ○ 有 指定部分工期: 令和 年 月 日 対象部分 ( )

Table with 2 columns: 方式及び種別, 設 備 概 要

II 工事仕様
1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁庁舎部制定の下記標準仕様書のうち、●印の付いたものを適用する。

Table with 2 columns: 項目, 特記事項

● 機材の品質等
(1) 本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

● 施工工期表
○ 足場その他

● 埋め戻し・盛土
● 建設生土の処理方法

● 機材の承諾図
● 総合試験調整

○ 確認電力機
● 電源周波数
○ 容量等の表示

● 耐震施工
(1) 機器類の能力、容量等は機器表に表示された数値以上とする。

Table with 3 columns: 機器種別, 特定の施設, 一般の施設

● 地中埋設機等
○ 配管
○ 絶縁継手

● 試験
● 保温

○ 金属管の塗装及び仕上げ
○ 天井仕上げ区分

○ 電気類
(1) 地中埋設機 ● 要 (図示による) ○ 不要

○ 配管
(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。

○ 天井仕上げ区分
○ 電気類

Table with 2 columns: 外気, 屋内

○ 鋼板製煙道
○ ダクト

○ チャンバー
○ ダンパー

○ 配管材料
(1) 冷温水管 ○ 給水管 ○ 排水管

○ 弁類
○ 保温及び消音内貼

○ ダクト
○ スパイラルダクト

○ ダンパー
○ シールドする排気ダクトの系統

○ チャンバー
○ 保温

○ ダクト
○ 排煙口の形式

○ 排煙口開放及び復旧方式
○ 排煙風量測定

● システム構成その他
● 電気計装用配線

● 自動洗浄装置及びその組み込み小機器
● 自動水栓の電源種別

● 配管材料
(1) 一般配管 ● 硬質塩ビ(パイピング)鋼管

○ 量水器
○ 量水器類

● 弁類
○ 水栓柱

● 管の地中埋設深さ
○ 建築物導入口

○ 配管材料
(1) 屋内 雑排水管(合流) ○ 硬質塩ビ(パイピング)鋼管

○ 配管材料
○ 弁類

○ 配管材料
(1) 屋内消火栓 一般配管 ○ 中の配管 ○ 1号消火栓 ○ 2号消火栓

○ 西管管材料
○ メーター

○ システム構成その他
○ 配管材料

○ 撤去内容
○ 発生材の処理

○ 撤去工事

Table with 2 columns: 品 目, 機材等名

別表-1

Table with 2 columns: 品 目, 機材等名

○ 電気計装用配線
○ 自動水栓の電源種別

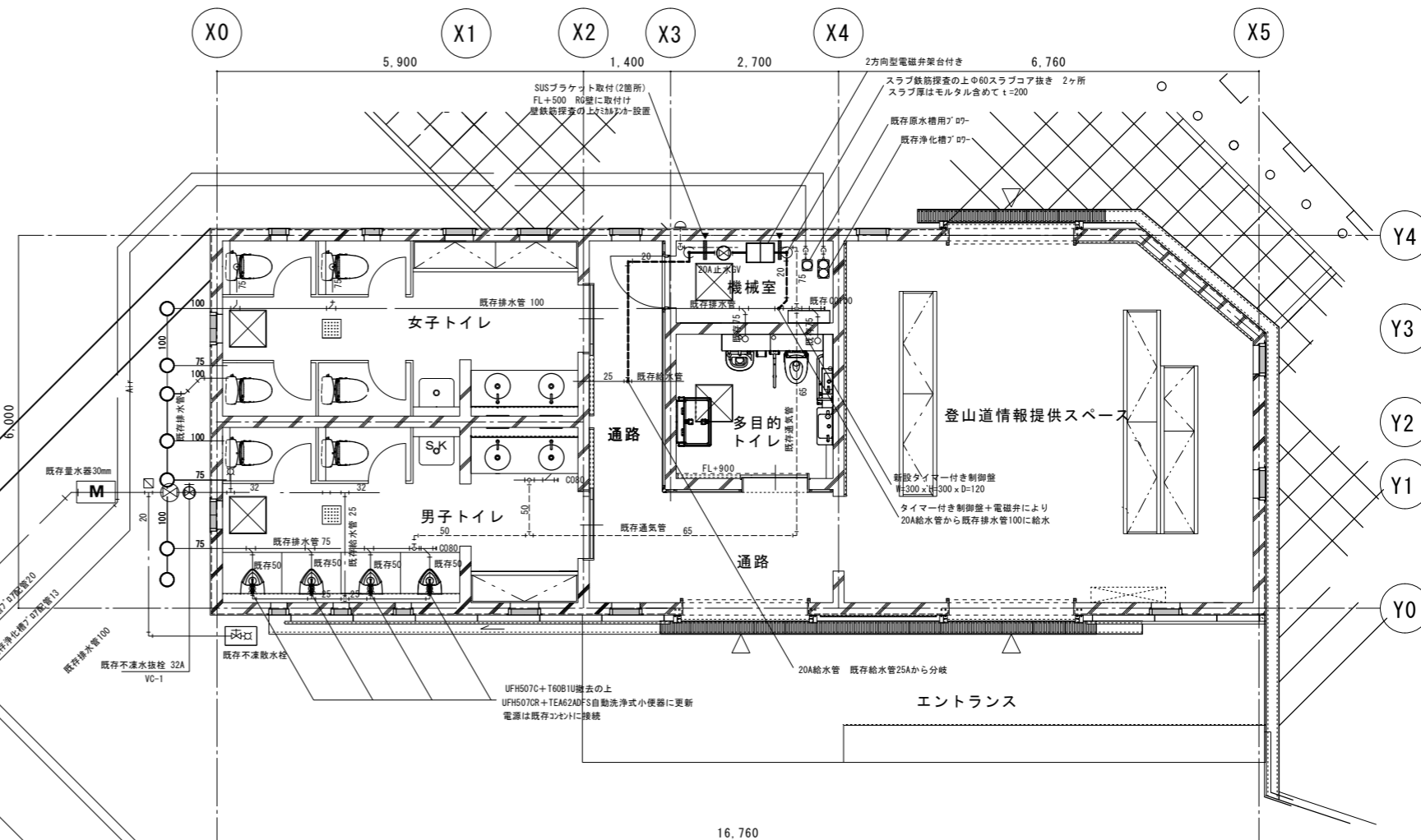
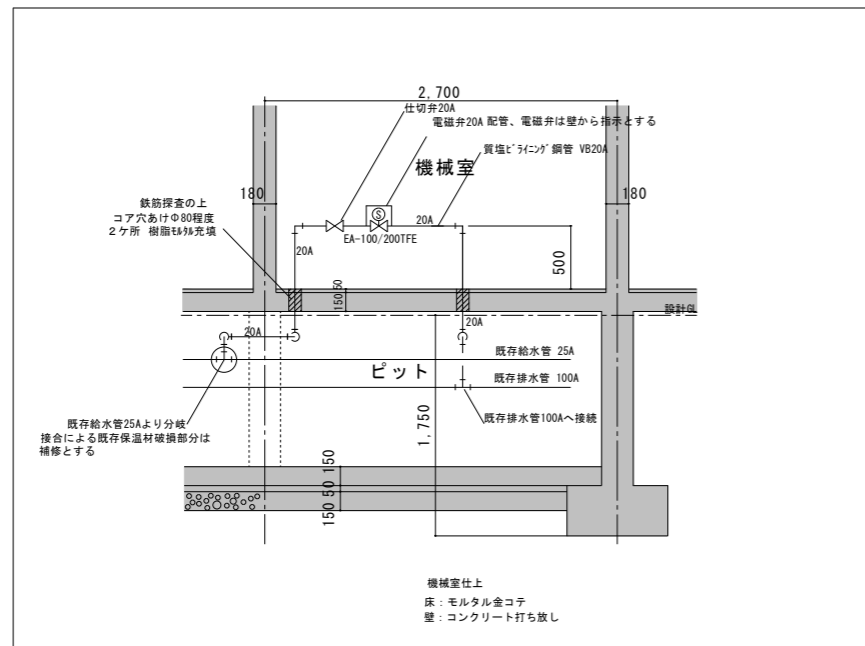
● 個別感知フラッシュ方式 ( ○ AC電源 ○ 自己発電 ) ● 既存コンセントに接続 (露出部分ダクトカバー)

○ 量水器
○ 量水器類

● 管の地中埋設深さ
○ 建築物導入口

○ 引込納付金等

Table with 3 columns: 工事名, 機械設備 特記仕様書, M-01



男子トイレ小便器更新器具表

撤去小便器	新設小便器
UFH507CHR + T60B1U	UFH507CR + TEA62ADFS

※ 既存コンセントから電源を取る場合は側面専用穴より付属コードを使用して接続する。側面穴は小便器横FL+100

【加水対策について】

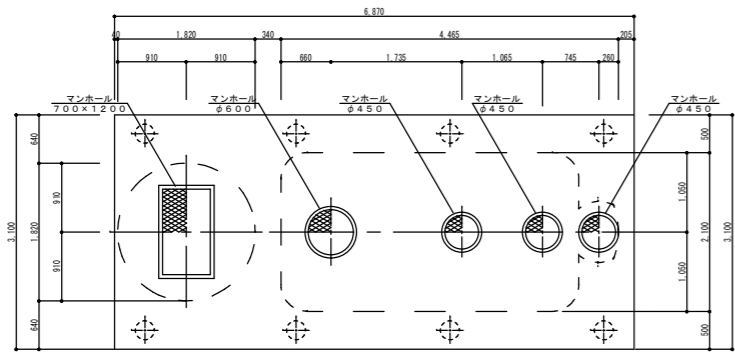
既存浄化槽放流水BOD数値改善のためタイマー付制御盤+電磁弁により自動加水を行う放流水BOD数値目標は20mg/L以下とする。設計による1日当たりの加水量は平日3.52m<sup>3</sup>土日祝祭日は2.75m<sup>3</sup>を予定している。

※その他使用水量増加対策

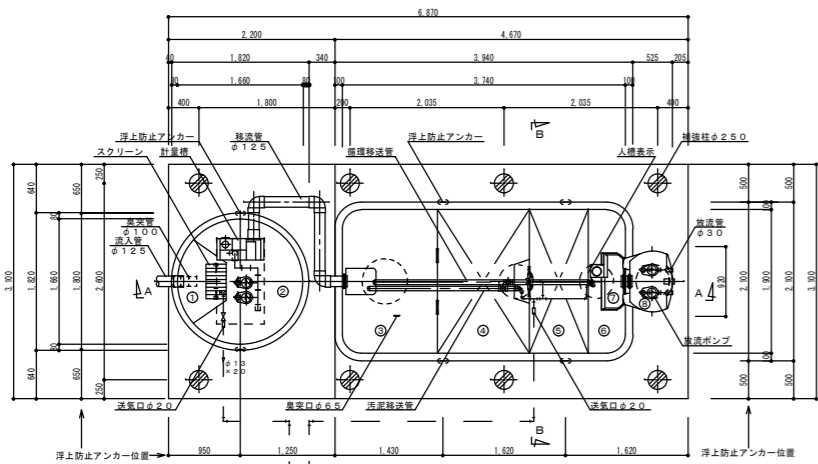
男子トイレのストール型小便器4台は自動洗浄型に更新し利用者の流し忘れによる水量減少を防ぐと共に現在設置の男女洋便器の節水バルブ調整により1回当たりの流量を増やす。

(節水型洋便器の通常の1回当たりの流量は4.5L調整後の1回当たりの流量は最大8L)

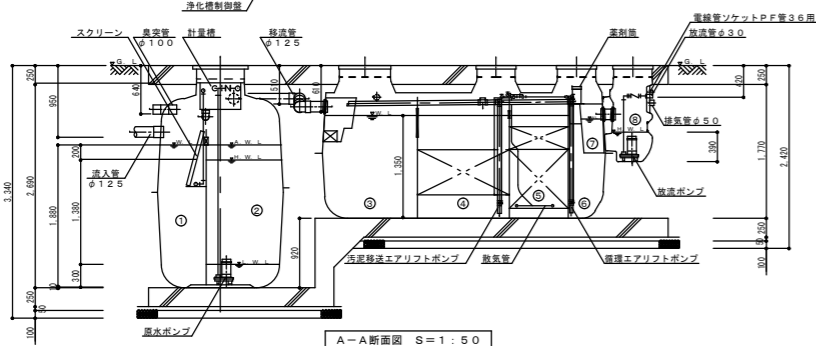
工事名称	令和5年度(繰越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本園地	図面名称	加水設備配管平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100 A1-1/30 A3-1/60
公園名称	日光国立公園	図面番号	M-02
検査		名称	株式会社高橋建築設計事務所
		資格者指名	高橋 潤
		登録番号	一級建築士第275483号
		所在地	群馬県那須市那須町新屋244-6



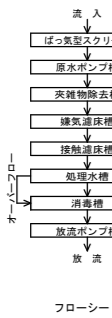
スラブ平面図 S=1:50



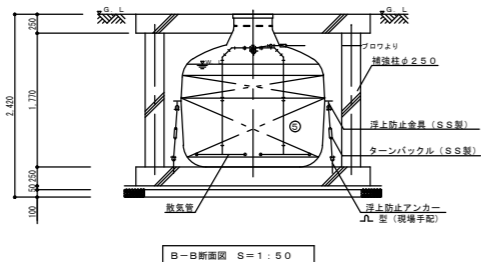
内部平面図 S=1:50



A-A断面図 S=1:50



フローシート



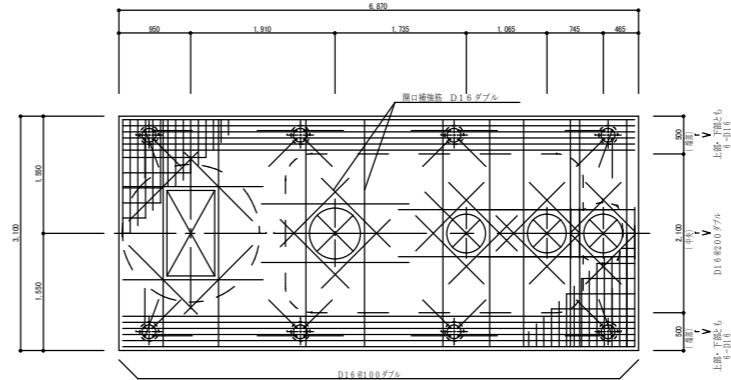
B-B断面図 S=1:50

原水ポンプ槽 [GP15]		※吊上目重量: 400kg	
① ばっ気型スクリーン	有効容量	0.595 m <sup>3</sup>	
② 原水ポンプ槽	有効容量	2.001 m <sup>3</sup>	
原水ポンプ	吐出量	口径	消費電力
プロウ	100L/min	φ13	69W
			連続運転
			1
原水ポンプ	吐出量	口径	出力
	120L/min	φ50	250W
			自動運転
			2
槽本体	FRP		
パイプ類	PVC		
マンホール	鉄鉄 (5000K)		

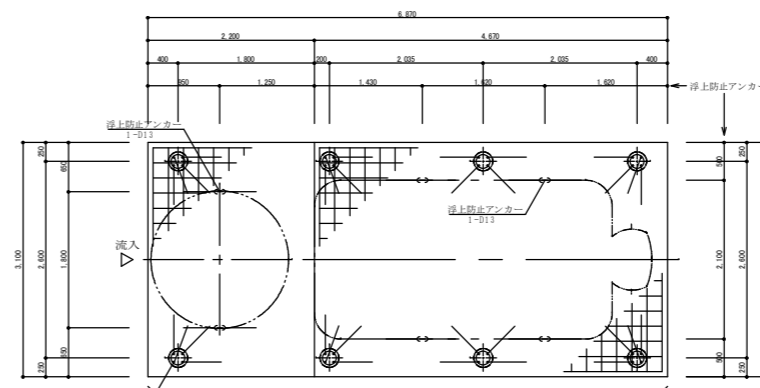
仕様表	
設計番号	TKS3938B
処理方式	接触ろ床方式
型式名称	フジクリーン CV-30 型 ※吊上目重量: 620kg
処理対象人員	30人
汚水量	6.00m <sup>3</sup> /d
流入水質	BOD200mg/L COD100mg/L T-N 45mg/L SS 160mg/L
放流水質	BOD 20mg/L COD 30mg/L T-N 20mg/L SS 15mg/L
① 沈殿分離槽	有効容量
	2.850 m <sup>3</sup>
② 接触ろ床槽	有効容量
	2.850 m <sup>3</sup>
③ 接触ろ床槽	有効容量
	1.815 m <sup>3</sup>
④ 処理水槽	有効容量
	0.976 m <sup>3</sup>
⑤ 消毒槽	有効容量
	0.073 m <sup>3</sup>
⑥ 放流ポンプ槽 (総容量に含まない)	有効容量
	0.105 m <sup>3</sup>
総容量	有効容量
	8.564 m <sup>3</sup>

機器装置仕様					
プロウ	吐出量	口径	消費電力	運転方式	台数
	200L/min	φ20	130W	連続運転	1
放流ポンプ	吐出量	口径	出力	運転方式	台数
	100L/min	φ30	150W	自動交互運転	2
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
ろ材	PPまたはPE				
マンホール	鉄鉄 (5000K)				
消毒剤	固形塩素剤				

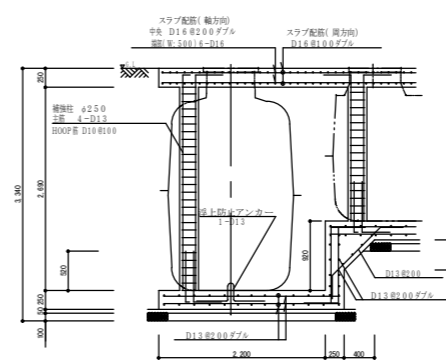
配管仕様	
露出配管 (プロウ廻り)	VP
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
槽内配管	メーカー仕様



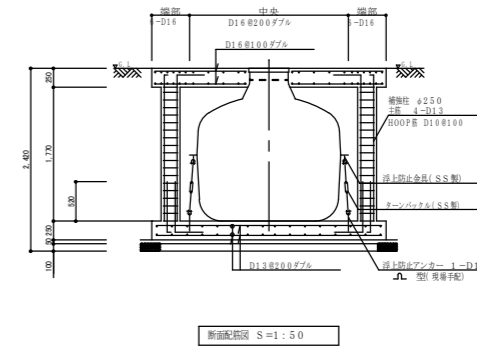
スラブ配筋図 S=1:50



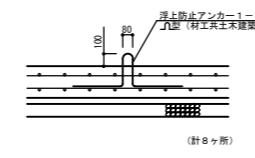
ベース配筋図 S=1:50



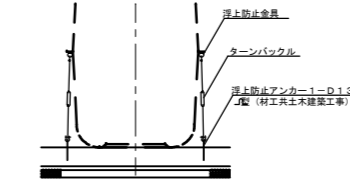
原水ポンプ槽断面配筋図 S=1:50



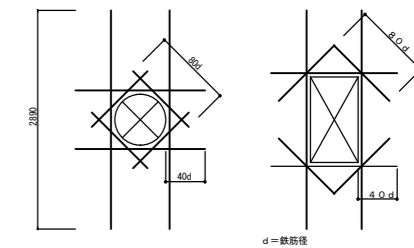
新設配筋図 S=1:50



浮上防止アンカー詳細図 S=1:30



φ150原水ポンプ槽浮上防止アンカー図 S=1:50



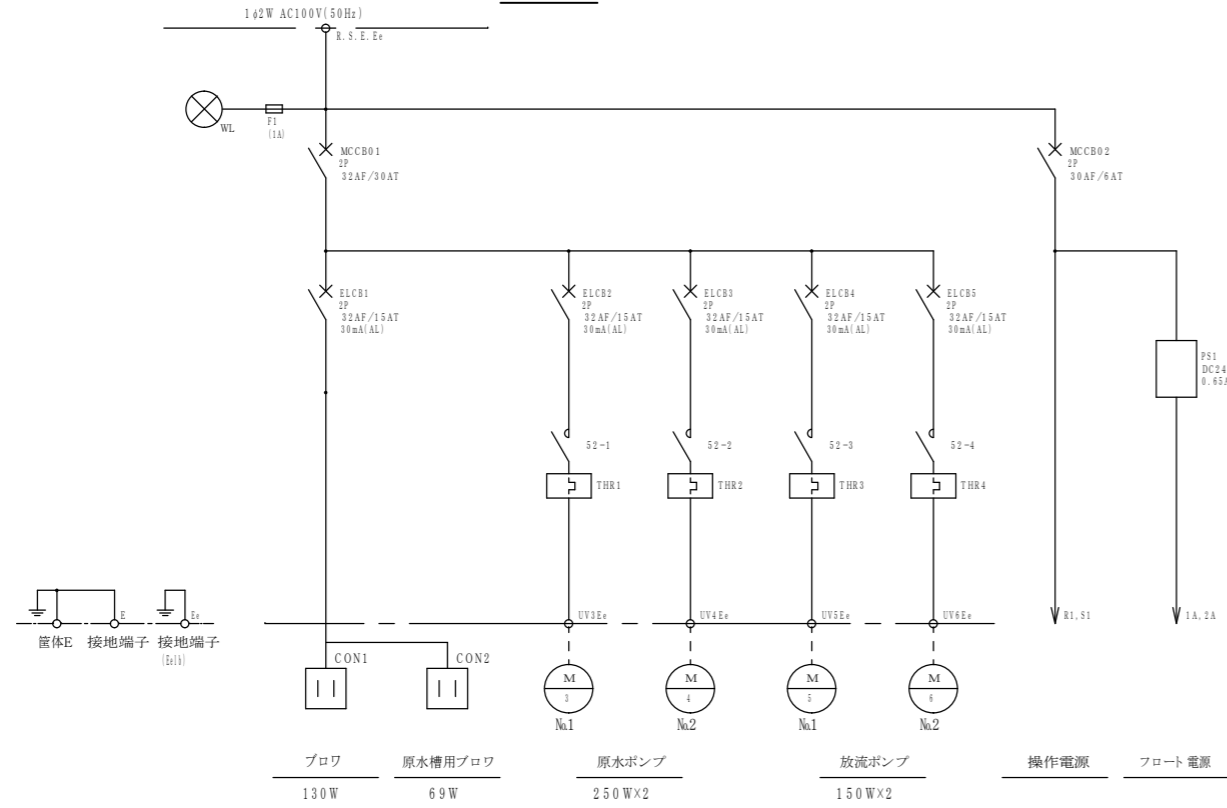
開口補強筋詳細図 (ダイヤモンド補強: D16ダブル)

一般事項	
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地盤	砕石又はRC 40~0

注1) 上部は10t車 (T-20) 荷重とする。  
注2) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。

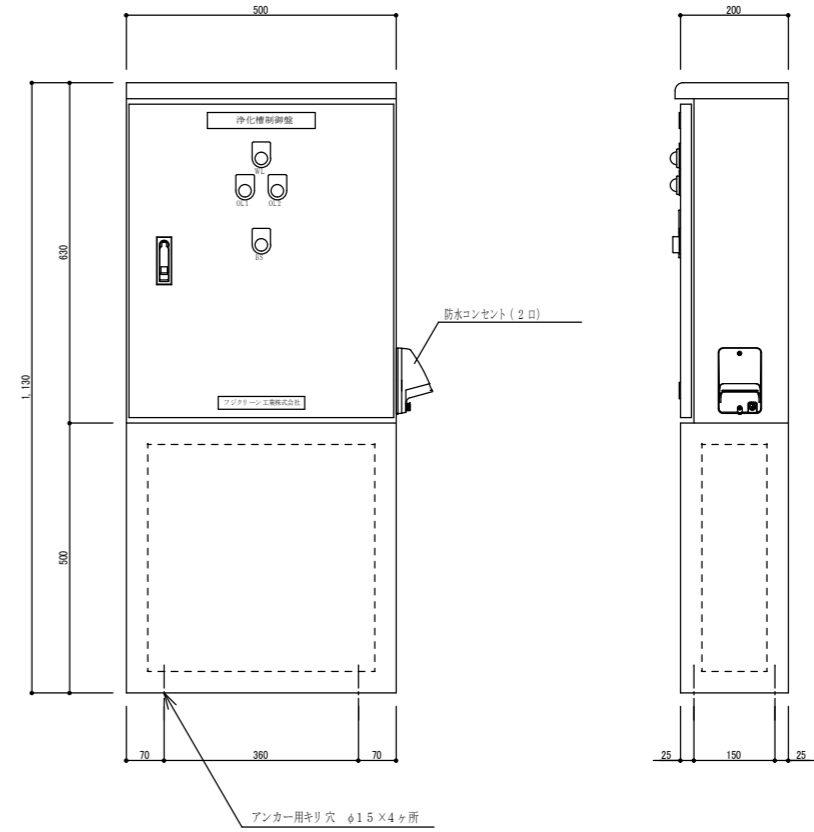
工事名称	令和5年度(横越)崎の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本地内	図面名称	既存 浄化槽構造図・配筋図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	M-O-3
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市船川町新屋244-6	

単線結線図

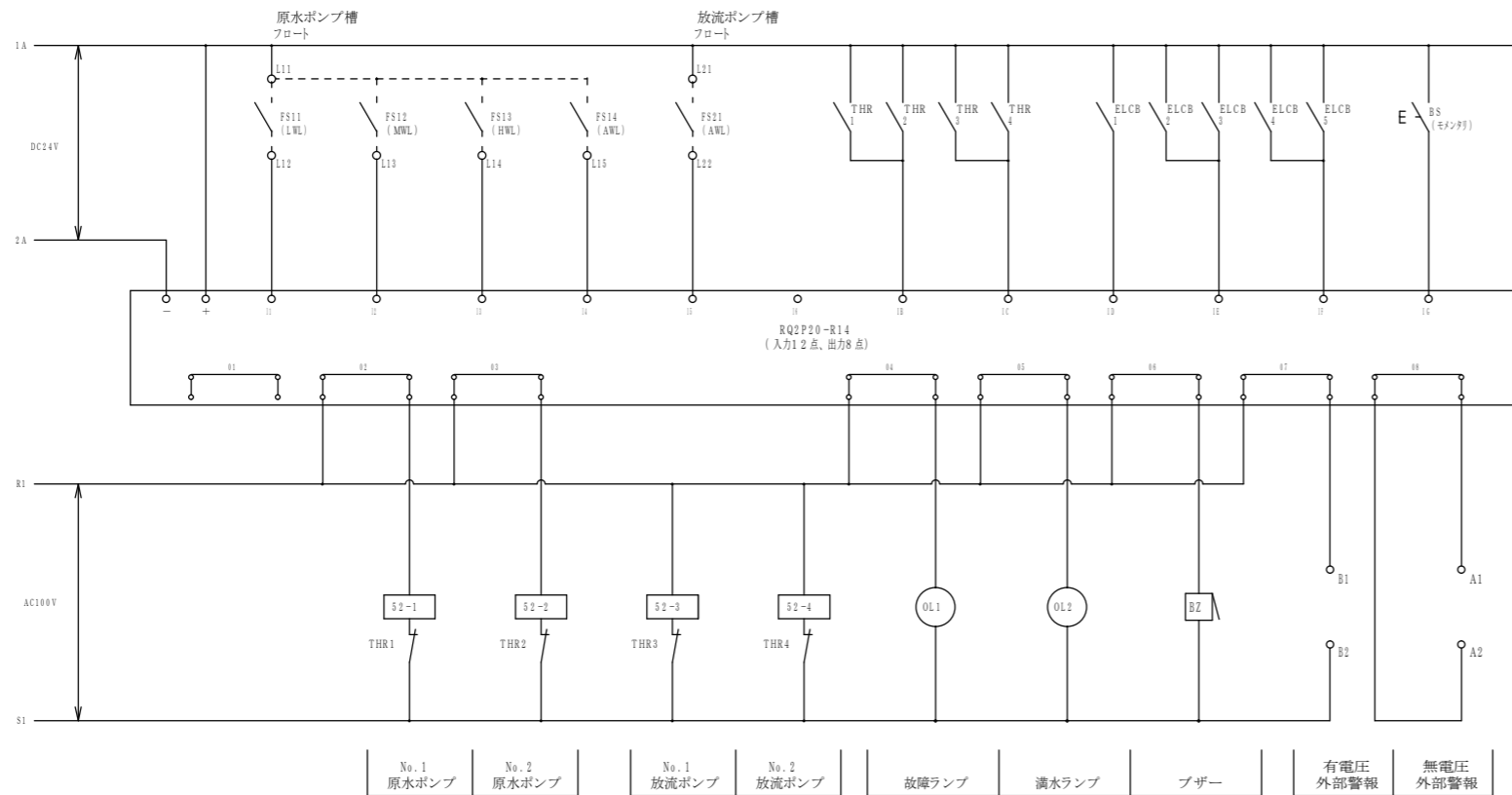


※アース端子は2つの機器で共用する場合も有ります。  
※プロワがアースレスの場合は端子台への接続は必要ありません。

盤姿図



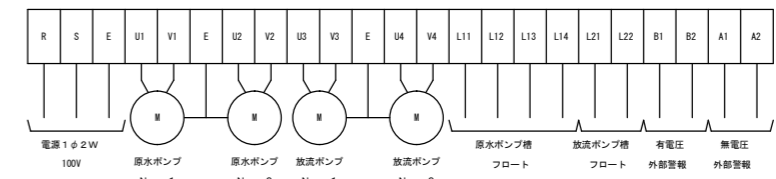
操作回路図



制御盤仕様

設計番号	TKS3338B
型式	CVR106(GHP)-EN(14-50)
構造	水切、防水、防塵構造
板厚 (鋼板製)	扉 1.6t 筐 1.6t
塗装	外面 マンセル5Y7/1 内面 マンセル5Y7/1

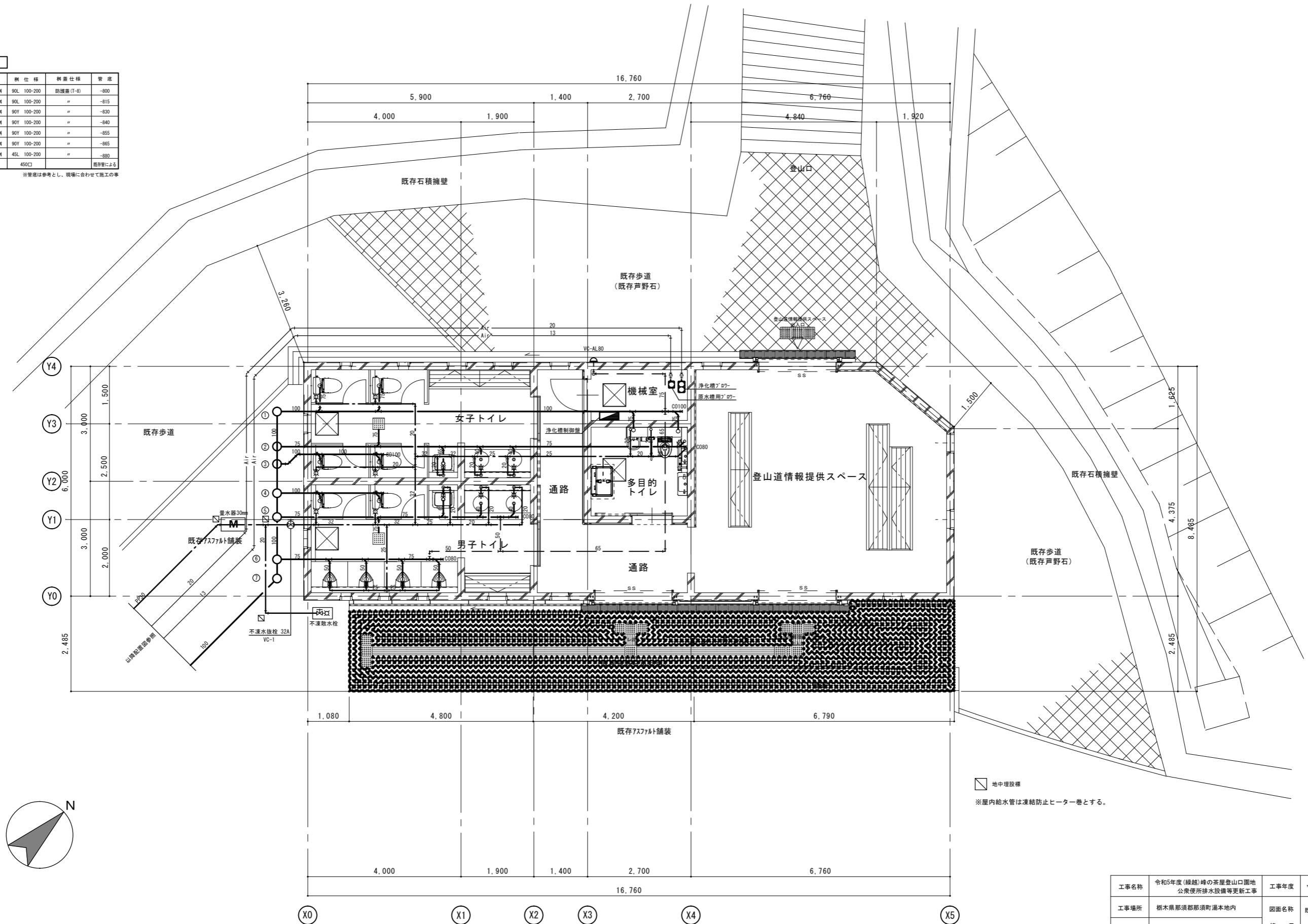
端子台配置図(T.B)



工事名称	令和5年度(横越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本内地	図面名称	既存浄化槽制御盤図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-Noscale A3-Noscale
公園名称	日光国立公園	図面番号	M-O4
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	

記号	例名称	例仕様	例仕様	管底
①	塩ビ製インバート管	90L 100-200	防護蓋 (T-8)	-800
②	塩ビ製インバート管	90L 100-200	"	-815
③	塩ビ製インバート管	90Y 100-200	"	-830
④	塩ビ製インバート管	90Y 100-200	"	-840
⑤	塩ビ製インバート管	90Y 100-200	"	-855
⑥	塩ビ製インバート管	90Y 100-200	"	-865
⑦	塩ビ製インバート管	45L 100-200	"	-880
⑧	既設井	450口	"	既設井による

※管底は参考とし、現場に合わせて施工の事



地下埋設構  
 ※屋内給水管は凍結防止ヒーター巻とする。

給排水設備平面図 S=1/50

工事名称	令和5年度(緑越)峰の茶屋登山口園地 公衆便所排水設備等更新工事	工事年度	令和6年度
工事場所	栃木県那須郡那須町湯本本地内	図面名称	既存 給排水設備平面図
発注機関	関東地方環境事務所	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
公園名称	日光国立公園	図面番号	M-O 5
検査	名称	株式会社高橋建築設計事務所	
	資格者指名	高橋 潤	
	登録番号	一級建築士第275483号	
	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋244-6	